

評定 29-0000

00 00 耐震計画評定申請書



サンプル [精密診断法]

事務所名

耐震計画評定申請書 添付図書リスト

*以下一式を3部用意

平成30年2月1日

耐震化促進係

評定委員会

添付順序

添付書類・図書・詳細

添付順序	添付書類・図書・詳細
<p>ファイル表紙</p> <p>■ 必要書類</p>	<p>評定番号 ○○ ○○ 邸耐震計画評定申請書(縦・横) 担当事務所名</p> <p>→ 区に問い合わせる</p> <p>1 第11号様式 耐震計画評定申請書(コピー)</p> <p>2 第6号様式 耐震化促進事業助成金交付決定通知書(コピー)</p> <p>3 簡易診断報告書 (表紙、各階平面図、助成交付結果の青紙) 又は、建築物調査結果報告書一式</p> <p>4 耐震補強計画概要 (調査概要、評点、補強目的、補強方法、特殊材料・工法) 建物の特徴(お神楽、オーバーハング等)や設計者の補強方針など詳しく記述する。 <u>*助成条件:道路後退等・その他の条件(減築)等の有無を明記する。</u></p> <p>5 現場調査表 (精密or一般診断、建物名称、評定番号を明記) 内壁仕上げ表(室名は計算書、図面と統一する) } HPよりダウンロード</p>
<p>■ 補強前計算書</p>	<p>1 計算ソフトは2012度版を使用する。</p> <p>2 所見欄には現場調査の内容や、耐力評価の根拠などを明記する。</p> <p>3 計算データをCDで添付(一部のみ)</p> <p>4 印刷項目 :別紙参照 白黒印刷</p>
<p>■ 補強後計算書</p>	<p>1 計算ソフトは2012度版を使用する。</p> <p>2 耐震性能評価書 捺印(コピー不可)</p> <p>3 所見欄には基礎補強、壁補強(使用面材・筋かい)、劣化等について明記する。</p> <p>4 柱頭柱脚接合部の検討・結果(N値計算書)を添付する。</p> <p>5 計算データをCDで添付(一部のみ)</p> <p>6 印刷項目 :別紙参照 カラー印刷(カラー1部、白黒2部でも可)</p>
<p>■ 調査写真</p>	<p>1 外観 外壁、屋根、バルコニー など</p> <p>2 各部屋 開口部の位置、壁の仕上げ など</p> <p>3 床下 床組、木材の劣化状況 など</p> <p>4 基礎 基礎形状・状態、鉄筋の有無(鉄筋探査機調査) など</p> <p>5 1~2階間 壁下地、筋かい、2階床組、使用金物 など</p> <p>6 小屋裏 屋根・壁下地、筋かい、使用金物、小屋組、木材の劣化状況 など</p> <p>7 柱・床の傾斜測定 各階3か所程度</p>
<p>■ 図面</p>	<p>タイトル・図面リスト (図面名・縮尺)</p> <p>1 木構造耐震補強工事特記仕様書(1/6)</p> <p>2 木構造耐震補強工事特記仕様書(2/6)</p> <p>3 木構造耐震補強工事特記仕様書(3/6)</p> <p>4 木構造耐震補強工事特記仕様書(4/6)</p> <p>5 木構造耐震補強工事特記仕様書(5/6)</p> <p>6 木構造耐震補強工事特記仕様書(6/6) } HPよりダウンロード</p> <p>7 案内図・配置図・<u>道路後退図(必要な場合)</u> } 必要事項明記、必要項目にチェック記入</p> <p>8 工事概要・外部仕上げ表</p> <p>9 内部仕上げ表(補強前・改修後)</p> <p>10 1階平面図(補強前) [写真撮影位置・方向、柱の傾斜測定位置、現地確認できた柱、増築部分などを図示]</p> <p>11 2階平面図(補強前) 同上</p> <p>12 1階平面図(補強後) [壁補強内容・範囲・番号、基礎補強位置、補強部材・仕様の凡例などを図示]</p> <p>13 2階平面図(補強後) 同上</p> <p>14 1階補強金物仕様及び金物位置(平面図と併用可)</p> <p>15 2階補強金物仕様及び金物位置(平面図と併用可)</p> <p>16 基礎・水平剛性 詳細図 など</p>
<p>■ その他</p>	<p>* 各階平面図の縮尺は1/50程度とする。</p> <p>* 第11号様式 耐震計画評定申請書(原本)1枚はファイルに閉じずに提出する。</p>

評定提出における注意事項

平成25年5月1日
耐震化促進係
評定委員会

会員外の設計事務所様で、評定審査に提出される際に「精密診断法」を用いて調査・設計される方々におかれましては以下の諸注意を熟読されて御提出下さいますよう、よろしくお願い致します。

1) 調査・診断上の注意点

- ① 簡易診断調査を事前に行っている場合には、精密及び一般診断調査に入る前に予め補強予定箇所をある程度絞り込んでから調査に入ってください。
その上で補強予定箇所の下に基礎があるか又は認定材料などを使う場合、面材の上下隙間寸法などを確認して下さい。
- ② 台所やトイレなどで一部が外壁より突出している場合があります。そのような時は外部からその部分の直下に基礎が入っているか確認して下さい。状況によっては耐力を見れない場合があります。
- ③ 2階で斜線制限などで天井だけでなく屋根の一部が傾斜しているときがありますので母屋下がりによる耐力の低減を見落とさないようにして下さい。
- ④ 外壁がサイディング張りの時、材質が窯業系か金属製か又は取付け方法が直付けか胴縁が入っているかをよく確認して下さい。
よくあるのは既存の外壁を撤去しないままサイディングを張っている例もありますので、その時外壁の荷重や耐力を慎重に判断して下さい。
- ⑤ 天井内の調査で羽子板ボルトの確認をされる場合、ただ付いているか見るのではなくボルトで固定しているかまで確認して下さい。又、鉄骨の梁が見つかった場合は補強計画に関りますので平面図内に記載して下さい。
- ⑥ 土壁の場合、特に内部間仕切壁などでは土壁が梁まで塗っていない場合があります。土壁を筋交要素とみるか、壁要素とみるかは設計者の判断ですがくれぐれも低減することを忘れないで下さい。
又、竹小舞の片側からしか塗っていない時もありますので御注意下さい。
- ⑦ 化粧合板の耐力については、その板厚や釘の状況さらに下地ベニヤの有無などを充分調査の上、判断して下さい。
- ⑧ 浴室廻りの調査では打診検査などを行い、タイル下地にコンクリートブロックが使われていないか、調査を行って下さい。水掛り部分にコンクリートブロックが使われている場合には、耐力が0又は低減が必要になります。
- ⑨ 戸袋内側の壁仕様を確認して下さい。
- ⑩ 2階の外壁耐力を検討される際、下屋の屋根勾配に応じて2階外壁の壁長さが短くなりますので適宜低減する事をお願いします。
- ⑪ 2階のオーバーハング部については持ち出し長さにもよりますが、オーバーハング部の片持梁がその上部の壁耐力を充分発揮出来るような構造になっているか、1階の天井内部などをよく調査して下さい。
又、オーバーハング部の床が、その壁が負担した力を下階まで伝えられるか検討して下さい。
これらの調査が出来なかった時は安全側に判断する意味で耐力=0と判断する場合も有ります。
- ⑫ 階段周りの調査時、階段下の物入の壁や階段上部の押入などの壁は横架材が無いため耐力壁として評価されませんので御注意下さい。
- ⑬ 助成金の申請をして調査・補強設計をするときは、くれぐれも練馬区のホームページに掲載されている診断及び実施設計の仕様書を熟読の上、調査内容に洩れの無いようにお願いします。

2) 補強設計上の注意点

- ① 設計者は依頼者に補強内容、補強箇所をよく説明し、原則として工事中の補強箇所の変更は認められない事を伝えて下さい。評定審査後の補強場所の移動を伴う変更等は原則各階毎の補強箇所の20%以内とし、それを超える変更は再評定の可能性があります。
- ② 補強金物によってはアンカーボルトとの組み合わせの上で耐力のとれているものがありますのでメーカーカタログを熟読の上、使い方に注意して下さい。
1階の柱脚部に15KN以上の補強金物を取付ける場合は原則ホールダウン金物として下さい。
- ③ 補強面材の使用方法を注意して下さい。土台からの空きや梁下端と天井間の距離など場合によっては設計上の耐力を見れない場合があります。
- ④ 原則として1階の壁補強箇所の直下に基礎の無い場合、コンクリート基礎は必要ですので、特別な場合を除いて鉄筋コンクリート基礎を入れる様にして下さい。
- ⑤ 壁の両面を面材で補強し更に筋交などを入れる場合、柱の補強金物が種類によっては入らなくなる時がありますので充分注意して下さい。この問題は工事が始まってからの変更に関ります。
- ⑥ 2階の壁補強で直下に壁が無いときは2階の引き抜き耐力が1階の梁に圧縮や引抜など影響を与えていないか充分注意してください。梁背が小さいときは適宜枕梁などで梁の補強をお考えください。

- ⑦ 構造用合板による補強で入隅部の補強は受材工法と見なされるので耐力の数値に注意してください。
- ⑧ 助成金の申請をして調査・補強設計をするときは、くれぐれも練馬区のホームページに掲載されている診断及び実施設計の仕様書を熟読の上、調査内容に洩れの無いようにお願いします。

3) 施工現場での注意点

- ① 工事を担当する工務店は工事に使用する認定材の講習を必ず現場の担当者に受講させて下さい。受講者証の提示を求め確認して下さい。又、認定材の仕様書を現場に置き、常に確認出来るようにして下さい。
- ② 面材での補強を行う場合、補強金物の取付け位置は原則として補強面材の面内に取付けるようにして下さい。

このサンプル資料内の書類等は、個人情報の保護を目的とし共通物件の資料とはしていない部分があります。

添付書類および図書の詳細についてはこのサンプルを参考に「耐震計画評定申請書 添付図書リスト」に従って作成して下さい。

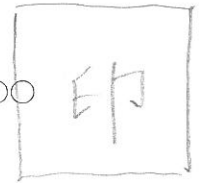
評定 25-000

サンプル 邸

計算データ CD

○○ ○○ 様

練馬区長 ○○ ○○



耐震化促進事業助成金交付決定通知書

平成○年○月○日付けで申請された耐震化促進事業助成金交付申請書について、審査した結果、練馬区耐震化促進事業助成要綱第13条第1項の規定に基づき、下記のとおり助成金を交付することを決定いたしましたので通知いたします。

記

1 交付予定金額	¥300,000-		
2 建築物の種類	<table border="1"> <tr> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 民間建築物耐震化促進事業 <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業 </td> <td> <input checked="" type="checkbox"/> 住宅 (<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 ・ <input type="checkbox"/> 長屋 ・ <input type="checkbox"/> 共同住宅) <input type="checkbox"/> 分譲マンション <input type="checkbox"/> 災害時医療機関等 <input type="checkbox"/> 民間特定建築物 <input type="checkbox"/> 公共的施設 <input type="checkbox"/> 中高層等 <input type="checkbox"/> 特定緊急輸送道路沿道建築物 <input type="checkbox"/> 一般緊急輸送道路沿道建築物 </td> </tr> </table>	<input checked="" type="checkbox"/> 民間建築物耐震化促進事業 <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 (<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 ・ <input type="checkbox"/> 長屋 ・ <input type="checkbox"/> 共同住宅) <input type="checkbox"/> 分譲マンション <input type="checkbox"/> 災害時医療機関等 <input type="checkbox"/> 民間特定建築物 <input type="checkbox"/> 公共的施設 <input type="checkbox"/> 中高層等 <input type="checkbox"/> 特定緊急輸送道路沿道建築物 <input type="checkbox"/> 一般緊急輸送道路沿道建築物
<input checked="" type="checkbox"/> 民間建築物耐震化促進事業 <input type="checkbox"/> 緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅 (<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 ・ <input type="checkbox"/> 長屋 ・ <input type="checkbox"/> 共同住宅) <input type="checkbox"/> 分譲マンション <input type="checkbox"/> 災害時医療機関等 <input type="checkbox"/> 民間特定建築物 <input type="checkbox"/> 公共的施設 <input type="checkbox"/> 中高層等 <input type="checkbox"/> 特定緊急輸送道路沿道建築物 <input type="checkbox"/> 一般緊急輸送道路沿道建築物		
3 助成金の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 耐震診断+実施設計 <input type="checkbox"/> 耐震診断 <input type="checkbox"/> 実施設計 <input type="checkbox"/> 耐震改修工事 <input type="checkbox"/> 簡易補強工事 <input type="checkbox"/> 建替え工事 <input type="checkbox"/> 除却工事		
4 建築物の概要	名称 : ○○ ○○ 様邸 所在地 : 練馬区○○ ○○ 規模 : 地上 2 階 ・ 地下 0 階 構造 (混構造では複数に○) : <input checked="" type="checkbox"/> 木造 ・ S造 ・ RC造 ・ SRC造 ・ その他 面積 (小数点第2位まで) : 延べ面積 ○○㎡ ・ 敷地面積 ○○㎡ 建築年月 : 昭和 ○○ 年 ○ 月		
5 助成金交付の条件	<ul style="list-style-type: none"> ・練馬区耐震化促進事業助成要綱の規定を遵守すること。 ・平成○年3月15日までに耐震診断および実施設計を完了し、交付請求をすること。それより後に請求した場合、助成金は交付されない。 ・東京都建築安全条例第2条に基づく隅切りの位置より建築物等 (門および塀を含む) が突出している箇所については、耐震改修工事完了時までには後退し、区へ報告すること。ただし、道路状の面から高さが4.5mを超える部分についてはこの限りでない。 		

=注意事項=

上記金額は交付予定の金額であり、申請した助成対象事業が完了し、完了実績の報告をした後に交付金額を確定します。

耐震診断・建築物調査結果報告書

受付番号 24 - 号
様

住所 練馬区 7-12-1

練馬区長

(公印省略)

簡易耐震診断および建築物の調査をしたので下記のとおり結果を報告します。

平成 年 月 日

1 調査対象建築物

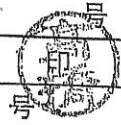
建築物所在地	練馬区 7-12-1		
診断依頼者		電話番号	03-3931-
規模	地上 2 階・地下 階	構造	木造

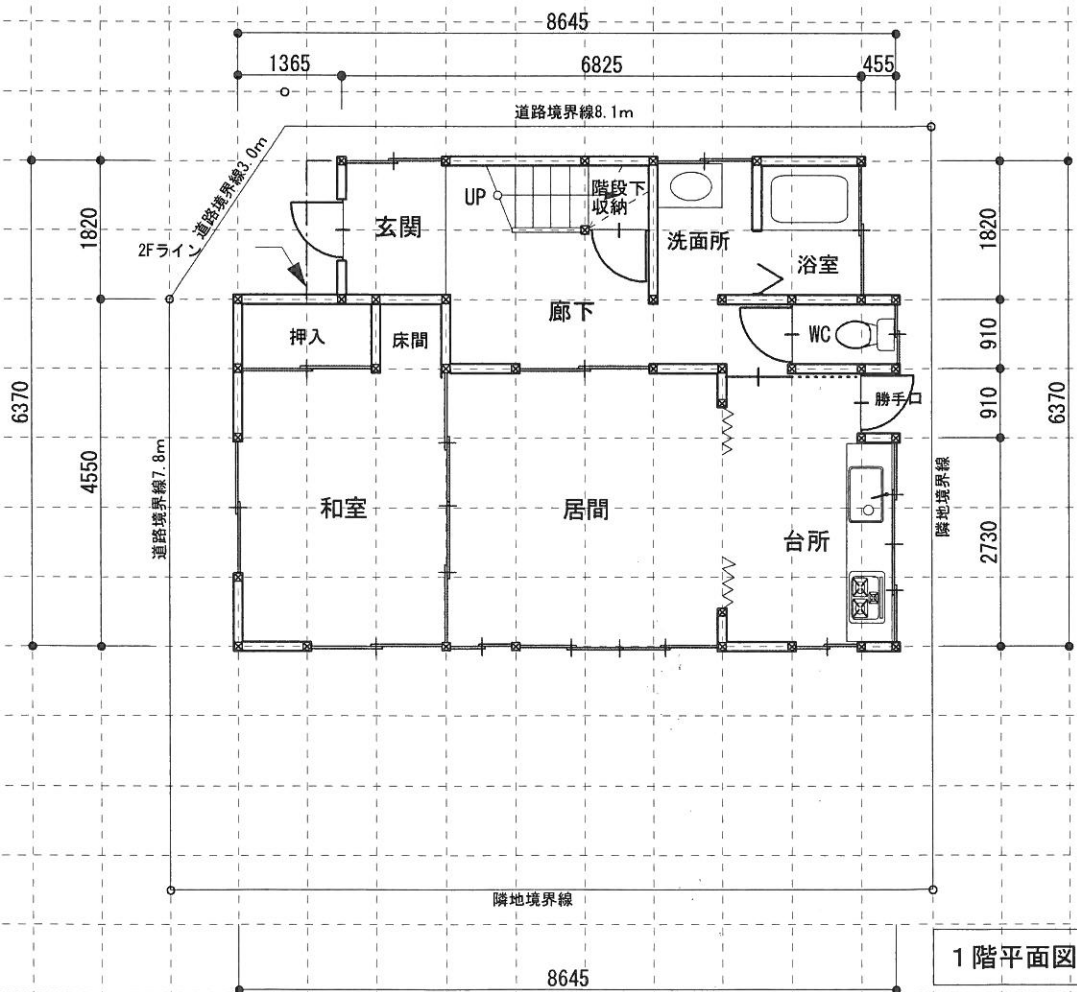
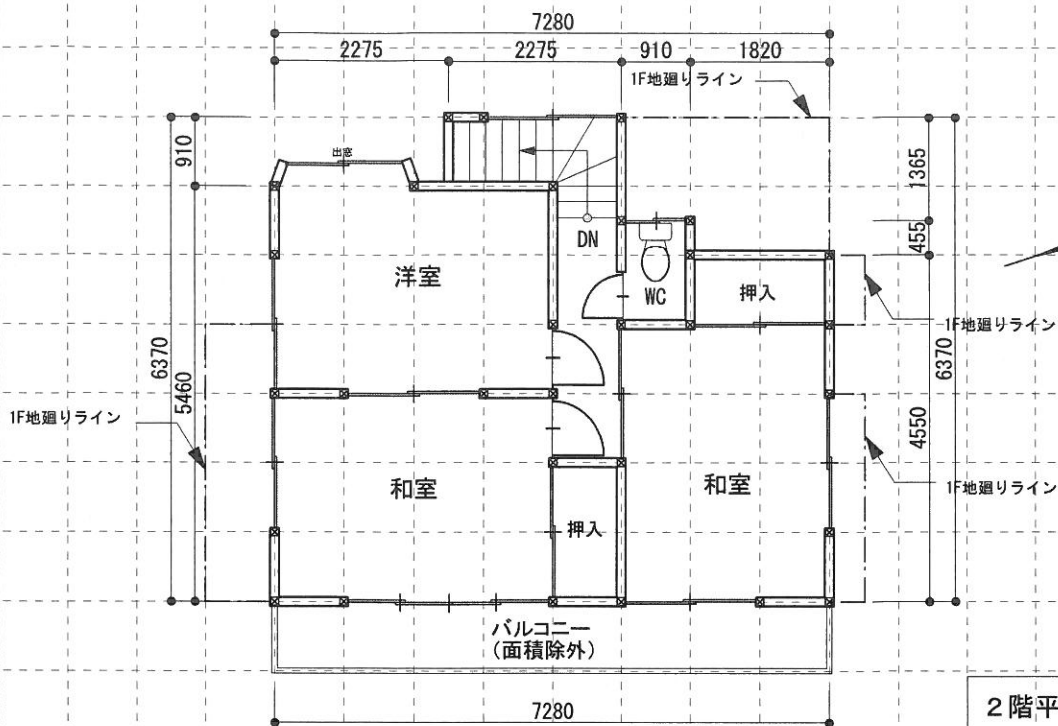
敷地面積	99.07 m ²	延べ床面積	91.09 m ²	建築面積	51.76 m ²
建築時期	昭和 55 年 月頃	建築確認取得の有無	有	建築確認日付・番号	昭和5 年1月 5日 第 87 号

階数	用途	各階延べ面積
1	専用住宅	51.34 m ²
2	専用住宅	39.75 m ²
		m ²
		m ²
合計(延べ面積)		91.09 m ²

2 調査に関する事項

調査者に関する事項	診断受託機関	一般社団法人 練馬区建築設計事務所協会		
	受託機関所属会社 事務所	会社名	株式会社 (一級建築士事務所)	
		所在地	練馬区	TEL 03-3948- 1
	調査者	氏名	(一級) 建築士事務所 (東京都) 知事登録 第 号	
検査者	氏名	(一級) 建築士 (国土交通大臣) 登録 第 28258 号		





(記入にあたっての注意事項)

- ・記入縮尺は1:100とし、用紙の上側を北とする。また1階を左に2階を右に作図し、上下階の位置関係が判るようにする。
- ・室名・柱位置・壁・開口部の記入をおこない、間仕切り位置の判る程度に寸法線を入れる
- ・その他必要と思われる事項を記入してください

工事名

図面名

調査年月日

簡易診断〇〇-〇〇〇〇

〇〇 〇〇 様

「耐震診断・建築物調査結果報告書」をご覧頂き、今後の参考にして下さい。練馬区では、耐震診断、実施設計、耐震改修工事経費の一部について助成（以下、「耐震改修工事等助成」という。）をおこなっておりますので、あわせてご検討ください。ただし、建築物調査結果の内容によっては、これらの助成制度をご利用できない場合もあります。詳しくは下記をご参照ください。

また、調査結果は現時点のものでありますので、その後助成制度の改正等により調査結果および交付条件等に変更が生じる場合があります。ご活用の際は、事前に下記担当まで確認してください。

記

建築物調査結果について

耐震改修工事等助成の交付申請をすることが出来ます。（1）

以上

<担当>

練馬区 都市整備部 建築課 耐震化促進係

〒176-8501 練馬区豊玉北 6-12-1

TEL 03-3993-1111(代表) 内線 8531~8533

サンプル 邸耐震補強計画概要

A 工事概要

工事名称	〇〇邸 耐震補強工事				
発注者	〇〇邸 △△ 様				
工事場所	東京都練馬区……………				
主要用途	一戸建の住宅				
建築面積	51.76 m ²				
延床面積	91.09 m ²	1階)	51.34 m ²	2階)	39.75 m ²
規模	木造2階建て在来工法				

B 評点について

	現状(補強前)評点		→	補強後評点		
	X方向	Y方向		X方向	Y方向	
2階	0.56	0.42	→	2階	1.17	1.07
1階	0.19	0.15	→	1階	1.05	1.07

C 補強の目的

本設計は現地調査の結果に基づき、既存建物を相対的に補強することにより構造上の評点「Iw値 1.0以上」を目指し、耐震性の向上を図ることを主旨として行うものである。

D 補強方針

- 1階のX, Y方向、2階のX, Y方向において「評点が1.0に満たない」ため、外部および内部を構造用合板、耐震壁(認定品)、筋かいを使ってバランスよく補強し耐力の向上を図った。
- 壁補強位置について、
1階は南西側を中心に新規に耐力壁をつくるなど、偏心を考慮しバランスよく補強を行なう。また壁補強箇所基礎がない場合においては新規に鉄筋コンクリート基礎を築造する。
2階については1階との連続性や偏心を考慮して補強を行う。またコスト面から室内側を優先した。

E 補強方法

上部構造評点は一階のX方向が「0.19」と最低値となっています。これはX方向の壁配置が建物南側に偏っており偏心率が大きくなっていることが大きな原因と言えます。また全体的に既存壁の下地耐力も低いと思われ、耐力不足となっています。

F 補強方法

1. 本建物は計算の結果、1、2階ともに偏心率が大きく壁配置に偏りがあるため、バランスよく既存壁を補強し、また新規に耐力壁を配置するなど偏心率を改善し、建物全体の耐震性の向上を図った。
2. 補強面材には構造用合板12mm、および認定面材を使用し、耐力の足りないところは筋かいを面材と併用する。

G 特殊な材料・工法

本補強工事には、下記メーカーの材料を使用する。
耐震パネル(ダイライト耐震壁)は「大建工業株式会社:かべ大将」
国土交通省大臣認定(壁倍率)認定番号FRM-0082
(財)日本建築防災協会(壁強さ倍率)評価番号DPA-住技-5-2(追加・変更)

F. 耐震改修工事助成条件のうち「道路後退による塀、門扉の撤去又は後退」に該当 有・無

現場調査表(木造)

診断の種類: <精密診断>

調査年月日

平成 25 年 7 月 1 日

建物名称	〇〇 △△ 邸		受付番号	評価 24- ...	簡易 24-....
1. 建物全般					
a. 確認通知書	<input checked="" type="checkbox"/> あり	<input type="checkbox"/> なし	※現況とあっているか		<input type="checkbox"/> いる <input checked="" type="checkbox"/> いない
b. 増築	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	c. おかぐら	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
d. 混構造	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし	e. スキップフロア	<input type="checkbox"/> あり	<input checked="" type="checkbox"/> なし
2. 地盤					
地盤の状態	<input type="checkbox"/> 良い <input checked="" type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや悪い <input type="checkbox"/> 非常に悪い				
3. 外部仕上げ					
a. 基礎	・形式	<input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input checked="" type="checkbox"/> 無筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> コンクリート造(鉄筋の有無が不明) <input type="checkbox"/> 玉石基礎 <input type="checkbox"/> その他 []		・形状	<input checked="" type="checkbox"/> 布基礎(逆T型) <input type="checkbox"/> 基礎(I型) <input type="checkbox"/> 独立基礎
				・状態	<input type="checkbox"/> 健全 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微なひび割れがある <input type="checkbox"/> ひび割れが多くある
b. 屋根	・葺き材の種類	<input type="checkbox"/> 日本瓦葺き <input type="checkbox"/> 洋瓦葺き <input checked="" type="checkbox"/> スレート板葺き(厚型) <input type="checkbox"/> スレート板葺き(薄型) <input checked="" type="checkbox"/> 金属板葺き		・形状	<input checked="" type="checkbox"/> 切妻 <input type="checkbox"/> 寄棟 <input type="checkbox"/> 陸屋根
	状態(劣化度)	瓦・スレート	<input checked="" type="checkbox"/> 健全	<input type="checkbox"/> 割れ、欠け、ずれ、欠落がある	・勾配 X方向 []/10 Y方向 [4]/10
c. 外壁	・仕上げ	<input checked="" type="checkbox"/> モルタル塗り <input type="checkbox"/> 板張り <input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 窯業系サイディング張り <input type="checkbox"/> その他		・状態(劣化度)	<input type="checkbox"/> 健全 <input checked="" type="checkbox"/> 軽微なひび割れが生じている <input type="checkbox"/> ひび割れが多く生じている <input type="checkbox"/> 割れ、ずれ、欠落がある <input type="checkbox"/> 腐朽がある <input type="checkbox"/> シール切れがある <input type="checkbox"/> 水浸み跡がある <input type="checkbox"/> その他 []
	・戸袋内仕上げ	<input type="checkbox"/> スレート <input type="checkbox"/> モルタル <input checked="" type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 []			
d. ベランダ	・支持形状	<input checked="" type="checkbox"/> 本体より持ち出し <input type="checkbox"/> 下屋支持 <input type="checkbox"/> 独立柱で支持 <input type="checkbox"/> その他 []		・床仕上げ	<input type="checkbox"/> モルタル <input type="checkbox"/> 合板 <input type="checkbox"/> キーストプレート <input checked="" type="checkbox"/> その他 [塩ビすのこ]
4. 内部仕上げ ※各室の壁仕上げ等は別紙「内壁仕上げ表」に記入してください。					
a. 吹抜け	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	b. 床の傾斜	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(小) <input type="checkbox"/> あり(大)	c. 柱の劣化度	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> あり(小) <input type="checkbox"/> あり(大)
e. 小屋裏	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり	f. 浴室の水かかり部分の下地	<input type="checkbox"/> コンクリート <input type="checkbox"/> コンクリートブロック	<input checked="" type="checkbox"/> 木材 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> その他 []
g. 基礎内の状況	※湿気	<input type="checkbox"/> なし <input checked="" type="checkbox"/> 少ない <input type="checkbox"/> 多い	※木材の劣化	<input checked="" type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(小) <input type="checkbox"/> あり(大)	※その他 []
備考 (他に指摘事項があれば記入してください)					

内壁仕上げ表

建物名称: [〇〇邸]

枚数 (1 / 2)

階	部屋名	壁 下 地				
1階	玄関	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input checked="" type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	廊下	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	階段	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input checked="" type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input checked="" type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
	便所	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	洗面所	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	浴室	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input checked="" type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input checked="" type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
	台所	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	居間	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	和室1	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input checked="" type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	押入れ	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input checked="" type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	階段下収納	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input checked="" type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし

内壁仕上げ表

建物名称: [〇〇邸]

枚数 (2 / 2)

階	部屋名	壁 下 地				
2階	階段	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input checked="" type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input checked="" type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
	廊下	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	便所	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	洋室	<input checked="" type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input checked="" type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	和室2	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input checked="" type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	和室3	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input checked="" type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
	押入れ共通	<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input checked="" type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input checked="" type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input checked="" type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし
		<input type="checkbox"/> 石膏ボード <input type="checkbox"/> きずり打ち <input type="checkbox"/> 化粧合板	<input type="checkbox"/> ラスボード <input type="checkbox"/> ベニヤ <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/> 土塗り壁 <input type="checkbox"/> 不明	<input type="checkbox"/> 大壁 <input type="checkbox"/> 真壁	<input type="checkbox"/> 胴縁あり <input type="checkbox"/> 胴縁なし

耐震診断報告書（精密診断法）

- 計算ソフトは基本的に2012年度版を使用してください。
- 表紙： 会社名 ・ 診断者名

計算書

耐震補強報告書（精密診断法）

□ 計算ソフトは基本的に2012度版を使用してください。

* 接合部のN値計算書および検討伏図を添付する。

* 補強コメントの欄には、補強の趣旨および補強方法などを記入する。

□ 表紙： 会社名 ・ 診断者名 ・ 押印

耐震性能評価書

〇〇

様邸

所在地 練馬区 〇〇〇

建築物 葺瓦屋根、モルタル壁

竣工年月日 昭和51年

建物面積	2階	36.02 m ²
	1階	37.68 m ²
	計	73.70 m ²

		X方向	Y方向
耐震性能	2階	1.08	1.01
	1階	1.05	1.02

評価年月日 平成29年10月16日

東京都知事 第〇〇〇号

一級建築士事務所

建築設計事務所

〇〇〇〇

印

第1章 工事概要

1. 工事名称
2. 発注者
3. 工事場所
4. 主要用途
5. 規模
 - 面積：計算書による
 - 構造 木造 木造+鉄筋コンクリート造併用 木造+鉄骨造併用
 - 既存基礎 健全な鉄筋コンクリート造布基礎、又はべた基礎
 - ひび割れのある鉄筋コンクリート造の布基礎、又はべた基礎
 - 無筋コンクリート造の布基礎、柱脚に足固めを設け鉄筋コンクリート底盤に柱脚または足固め等を緊結した玉石基礎
 - 軽微なひび割れのある無筋コンクリート造の基礎
 - 玉石、石積、ブロック基礎、ひび割れのある無筋コンクリート造の基礎など
 - その他の基礎

6. 工事範囲 本工事は、「練馬区戸建住宅耐震改修工事」及び「練馬区木造戸建住宅簡易補強工事」に関するものであり、同時にリフォーム工事等を行う場合には補強部分との取り合いに注意する。

7. 工事の目的 本工事は、各調査の結果にもとづき既存建物を相対的に補強することにより、構造上の評点「lw値 以上」を目指し耐震性の向上を図る事を主旨として行うものである。

※lw値の数値を記入する

上部構造評点	判定
<input type="checkbox"/> 1.5以上	倒壊しない
<input type="checkbox"/> 1.0以上～1.5未満	一応倒壊しない
<input type="checkbox"/> 0.7以上～1.0未満	倒壊する可能性がある
<input type="checkbox"/> 0.7未満	倒壊する可能性が高い

8. 工事計画 本工事は、既存の木造構造体に対して「地盤の改良」「基礎の補強又は増設」「有効な耐力壁の確保」「床剛性の確保」「屋根を含めた建物重量の軽減」及び「腐朽材の入れ替え」等を行い耐震性の向上及び構造上の改善を図るもので、既存構造体との接合が極めて重要である。また、この施工は一般の建築工事とは施工方法が相当異なる面がある。

よって、設計の主旨及び最終的な建物の状態を十分理解した上で工法を選び、施工計画をたてなければならない。

- a) 構造体寸法、階高寸法その他は実測による。
- b) 改修箇所には適切な接合金物を取付ける。
- c) 可能な範囲で既存構造体で使用されている金物の締め直しを行う。
- d) 解体時のほこり等による汚れが最小の範囲となるよう養生する。
- e) 仕上げ及びコンクリート等の撤去は、最小限必要な範囲とし改修外の部分をできるだけ傷めないよう十分注意する。
又、腐朽部分は材料の入れ替えを行う。
- f) 既存の配管、配線及び器具等に損傷を与えないよう十分注意する。
- g) 施工に先立ち、施主及び設計者と工事の工程等について十分打合せを行い意思の疎通を図る。

9. 工事内容 工事項目は下記による。

- 耐力壁設置
 - 【筋違い】（使用材料：木材 各メーカー認定工法及び評価を取得した工法）
 - 【面材】（使用材料：構造用合板 各メーカー認定工法及び評価を取得した工法）
- 金物取付
- 金物の締め直し
- 屋根面補強
- 小屋面補強
- 2階床面補強
- 1階床下補強

- 基礎補強
- 地盤改良
- 腐朽部分取り替え
-

※真壁の補修を行う場合は下記による。
真壁の補修を行う（表面の仕上げ：左官仕上げ 石膏ボード+クロス

第2章 一般事項

1. 適用範囲 本工事は、設計図及び本特記仕様書に基づくものとし、これらに記載なき場合は次に定める優先順位の仕様書による。
 (1) 「木造住宅の耐震診断と補強方法（2012年改訂版）」日本建築防災協会
 (2) 国土交通大臣認定及び日本建築防災協会による技術評価を取得した工法による各メーカーの仕様書
2. 現状との相違 改修箇所を解体したのち図面と相違する場合は、設計者と協議の上その指示に従う。
3. 工事写真
 1. 各工事ごとに記録写真として残す。
 ※詳細は「練馬区戸建住宅等耐震改修工事仕様書」及び「練馬区木造戸建住宅簡易補強工事仕様書」参照
 - (1) 解体前の現況
 - (2) 解体完了時
 - (3) 筋かい及び補強金物取り付け完了時
 - ・全景
 - ・全ての金物取り付け部位
 - (4) 合板その他のボード類張り完了時
 - (5) クロス等仕上げ工事完了時
 - (6) 基礎補強、水平構面の補強を行った場合の工程毎の状態

第3章 仮設工事

1. 安全等 工事期間中は居住しながらの工事となるため、安全に対して十分に配慮する。
 (1) 既存部材の仕上げ材及び機器類に損傷を与えないよう十分注意する。
 (2) 家具等の移動は施主の了解のもとに行い、転倒・落下等のない様十分注意する。
 (3) 養生方法については、事前に施主に十分説明する。
 (4) 改修完了後、清掃を行い基本的に元の状態に復旧する。尚、清掃の程度については施主と事前に協議する。

第4章 特別な材料・工法等

国土交通大臣認定及び日本建築防災協会による技術評価を取得した工法とし、施工に関しては各メーカーの施工要領書等を十分理解した上で工事を行う。

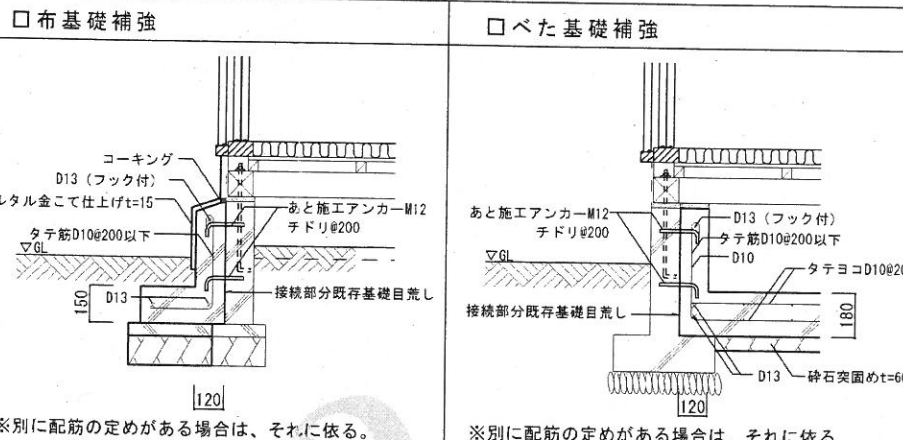
1. 特別な材料 有り 無し
2. 特別な工法 有り【工法名（メーカー名）：無し

第5章 その他

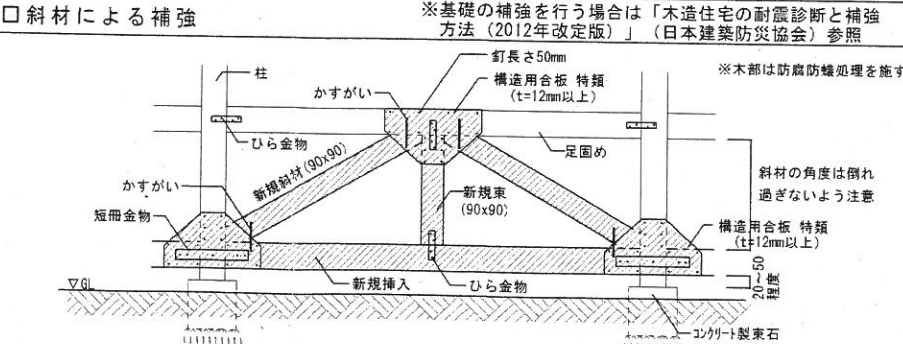
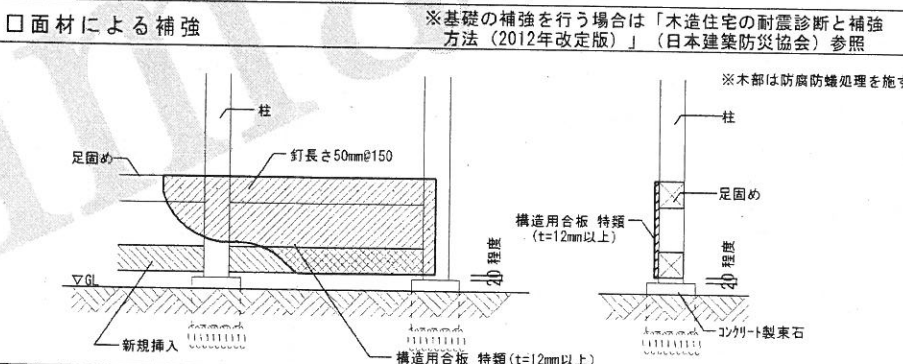
1. 火気使用室内装 台所等火気使用室内装を変更する場合は、建築基準法の内装制限「火器使用室」に関する法令を遵守し工事を行う。
2. シックハウス対策 各下地及び仕上げ材料については、シックハウス対策に十分配慮する。

基礎補強標準図 基礎補強 有り 無し (全面 クラック補修 部分)

- 基礎形状 直接基礎 <現況>
独立基礎
無筋コンクリート造布基礎
コンクリートブロック造基礎
- 使用材料 A 鉄筋
SD295A (径 D10~D13)
SD345 (径)
- B コンクリート
Fc= N/mm2
- C あと施工アンカー 接着系アンカー 金属系アンカー
- D その他
- <改修後>
鉄筋コンクリート造布基礎
鉄筋コンクリート造ベタ基礎
日本建築防災協会の評価を得た繊維シート等を用いた基礎補強



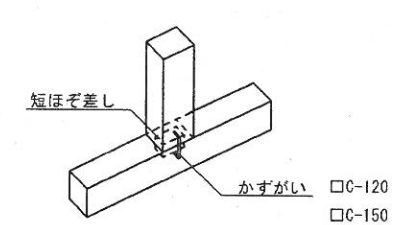
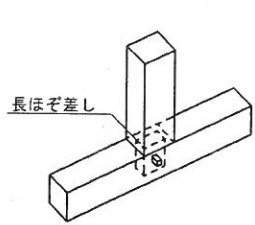
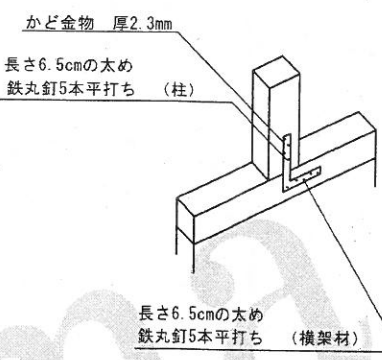
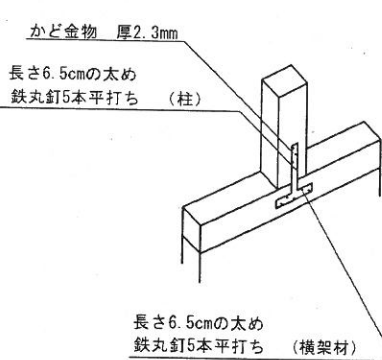
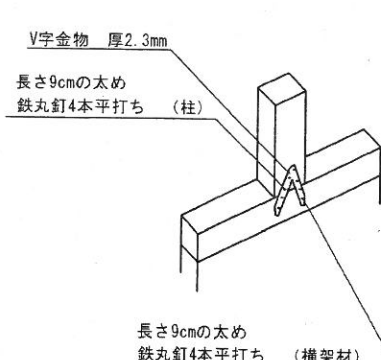
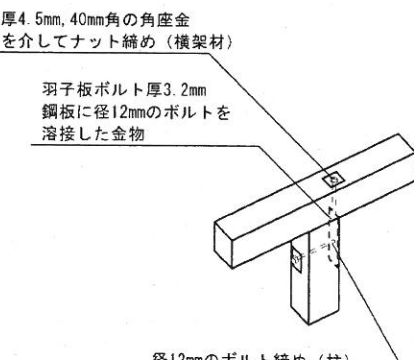
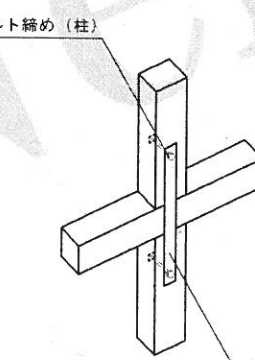
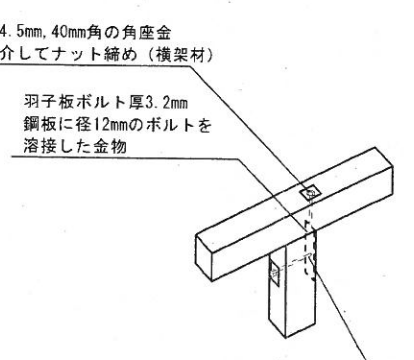
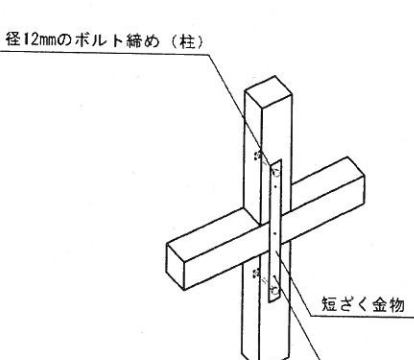
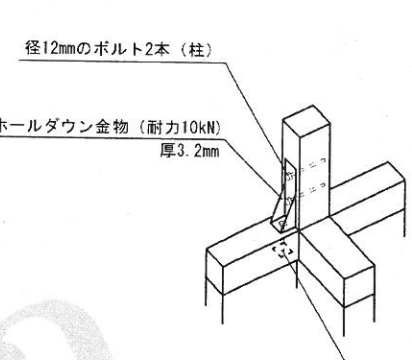
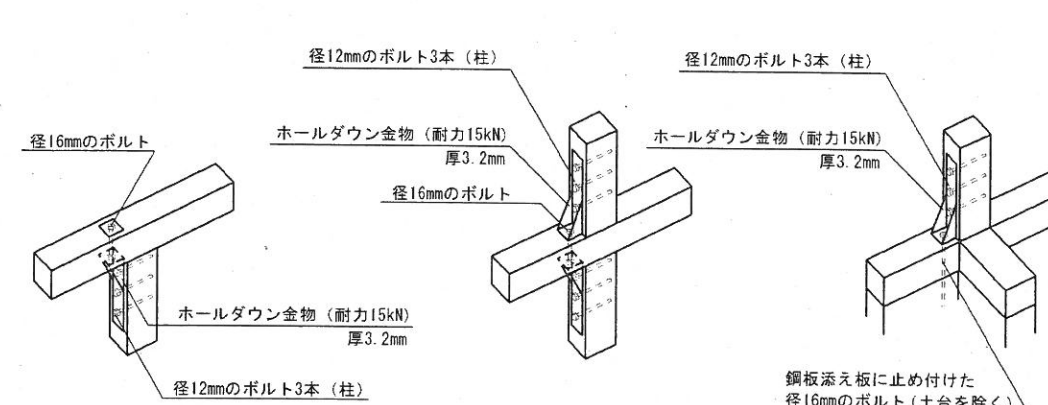
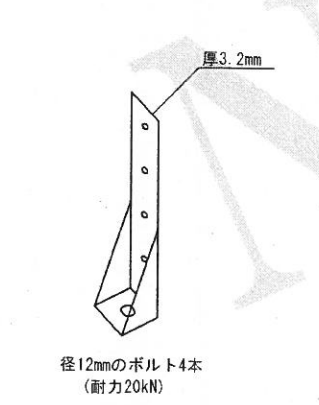
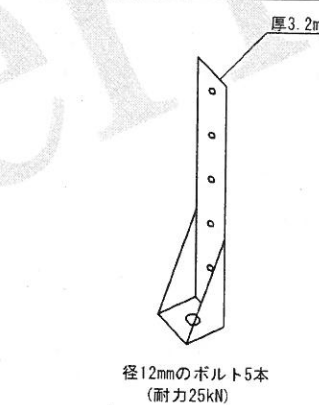
基礎がない場合の「床下足固め固定」の方法（基礎補強には該当しない）



※本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.1	(1/6)	図番
設計年月日	縮尺		枚数

特記：使用金物類は、日本住宅・木材技術センターZ金物相当品とする。
 下図は告示による表記であり、メーカー仕様による該当品の使用も可とする。(Dマーク、Sマーク、Cマーク)

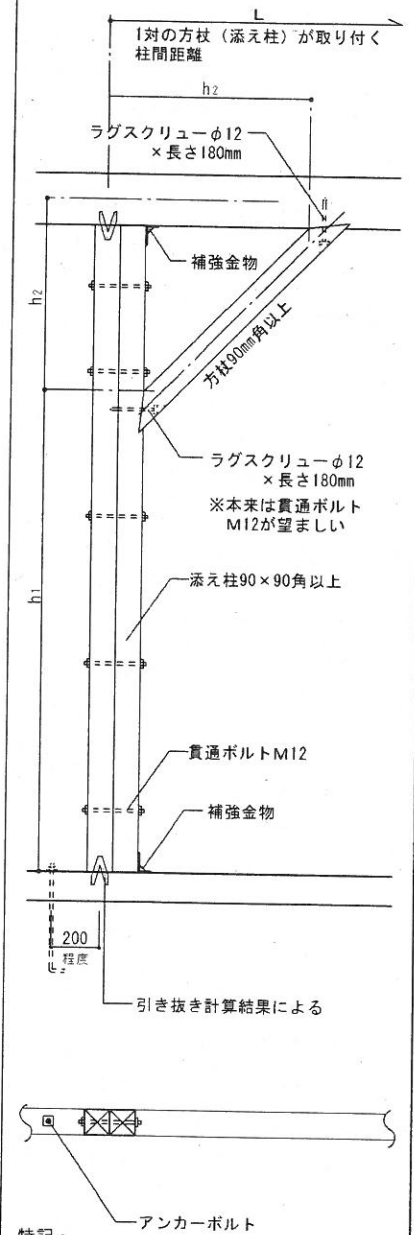
<p>い <input type="checkbox"/>短ほぞ差し、かすがい打ち</p> <p>短期許容耐力 短ほぞ差し : 0.0 kN かすがい打ち : 1.1 kN *.1</p>  <p>短ほぞ差し かすがい □C-120 □C-150</p>	<p>ろ <input type="checkbox"/>長ほぞ差し込み栓打ち</p> <p>短期許容耐力 3.4 kN</p>  <p>長ほぞ差し</p>	<p><input type="checkbox"/>かど金物 (CP・L)</p> <p>短期許容耐力 3.4 kN</p>  <p>かど金物 厚2.3mm 長さ6.5cmの太め 鉄丸釘5本平打ち (柱) 長さ6.5cmの太め 鉄丸釘5本平打ち (横架材)</p>	<p>は <input type="checkbox"/>かど金物 (CP・T)</p> <p>降伏耐力 5.1 kN</p>  <p>かど金物 厚2.3mm 長さ6.5cmの太め 鉄丸釘5本平打ち (柱) 長さ6.5cmの太め 鉄丸釘5本平打ち (横架材)</p>	<p><input type="checkbox"/>山形プレート (VP)</p> <p>降伏耐力 5.1 kN</p>  <p>V字金物 厚2.3mm 長さ9cmの太め 鉄丸釘4本平打ち (柱) 長さ9cmの太め 鉄丸釘4本平打ち (横架材)</p>
<p>に <input type="checkbox"/>羽子板ボルト/スクリーナなし (SB・F2・SB・E2)</p> <p>降伏耐力 7.5 kN</p>  <p>厚4.5mm, 40mm角の角座金を介してナット締め (横架材) 羽子板ボルト厚3.2mm 鋼板に径12mmのボルトを溶接した金物 径12mmのボルト締め (柱)</p>	<p><input type="checkbox"/>短冊金物/スクリーナなし (S)</p> <p>降伏耐力 7.5 kN</p>  <p>径12mmのボルト締め (柱) 短ざく金物 厚3.2mm</p>	<p>ほ <input type="checkbox"/>羽子板ボルト/スクリーナあり (SB・F・SB・E)</p> <p>降伏耐力 8.5 kN</p>  <p>厚4.5mm, 40mm角の角座金を介してナット締め (横架材) 羽子板ボルト厚3.2mm 鋼板に径12mmのボルトを溶接した金物 径12mmのボルト締め (柱) 長さ50mm, 径4.5mmのスクリーナ打ち (柱)</p>	<p><input type="checkbox"/>短冊金物/スクリーナあり (S)</p> <p>降伏耐力 8.5 kN</p>  <p>径12mmのボルト締め (柱) 短ざく金物 厚3.2mm 長さ50mm, 径4.5mmのスクリーナ打ち (柱)</p>	<p>へ <input type="checkbox"/>引き寄せ金物 (HD-B10, S-HD10)</p> <p>短期許容耐力 10.0 kN</p>  <p>径12mmのボルト2本 (柱) ホールダウン金物 (耐力10kN) 厚3.2mm 鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルト (横架材など)</p>
<p>と <input type="checkbox"/>引き寄せ金物 (HD-B15, S-HD15)</p> <p>短期許容耐力 15.0 kN</p>  <p>径16mmのボルト ホールダウン金物 (耐力15kN) 厚3.2mm 径12mmのボルト3本 (柱) ホールダウン金物 (耐力15kN) 厚3.2mm 径12mmのボルト3本 (柱) 鋼板添え板に止め付けた径16mmのボルト (土台を除く)</p>	<p>ち <input type="checkbox"/>引き寄せ金物 (HD-B20, S-HD20)</p> <p>短期許容耐力 20.0 kN</p>  <p>厚3.2mm 径12mmのボルト4本 (耐力20kN) ※接合方法は (と) に準ずる</p>	<p>り <input type="checkbox"/>引き寄せ金物 (HD-B25, S-HD25)</p> <p>短期許容耐力 25.0 kN</p>  <p>厚3.2mm 径12mmのボルト5本 (耐力25kN) ※接合方法は (と) に準ずる</p>	<p>ぬ <input type="checkbox"/>引き寄せ金物 (HD-B15, S-HD15) x 2</p> <p>短期許容耐力 30.0 kN</p> <p>(と) を2個使ったもの</p>	

※本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。

*.1 日本建築防災協会「2012年版 木造住宅の耐震診断と補強方法」 解表3.7接合部の仕様による

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.2 (2/6)	図番	
設計年月日	縮尺		枚数

□壁によるもの				□筋かいによるもの						□方杖によるもの										
工法	□土塗り壁		工法	□木摺下地モルタル塗 (厚20mm程度)		工法	□鉄筋9.0φ以上 たすき		工法	□木材30mm×90mm		工法	□木材45mm×90mm		工法	□木材90mm×90mm		工法	□木材90mm角方杖	
	塗厚	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率		基準耐力 (kN/m)	壁倍率
70mm以上 90mm未満	1.7	3.5		1.1	2.2	1.6	接合金物あり	3.2	1.2	接合金物あり	2.4	1.6	接合金物あり	3.2	2.4	接合金物あり	4.8	(1.3/L)/1.96	接合金物あり	1.3/L
90mm以上	1.9	3.9	木摺り@455mm ラス:1019J@100mm															※2h ₂ < h ₁ かつ 900mm程度の2等辺三角形		
貫3本以上																				
※壁の上部、及び上下に、隙間がある場合は修正耐力値を用いる。																				



特記：
 1. 横架材が方杖からの力により破損しないよう、使われている木材の断面寸法および欠損には注意すること。
 2. 方杖により形成される三角形部分は、厚12mm以上の構造用合板を両面張り (釘N50@150) とすることが望ましい。

1. 本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。
2. 各部に使用する補強用金物は種類も多いため、現場にて適材適所を考え協議の上決定する。
3. 新規に設ける補強柱は「ほぞ納まり」とすることが難しいため、建込に当たり横架材と隙間が開かないよう注意し、柱梁接合金物の他に滑り止めとしての金物を別途取付ける。
4. 地面から1m以内の部分に用いる木材は、必要に応じて防腐措置及びしろありその他虫による被害を防ぐための措置を講ずる。

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.3 (3/6)		図番
設計年月日	縮尺		枚数

特記：本仕様書に示されている壁倍率の値は壁基準耐力 (kN/m) を 1.96 kN/m で除した値であり、建築基準法上の壁倍率とは異なる。

□面材によるもの

□大壁タイプ (直張り)					□大壁の受材タイプ (直張り)					□真壁タイプ							
材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)	材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)	材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)
		種類	間隔 (cm)					種類	間隔 (cm)					種類	間隔 (cm)		
□構造用合板 t=9.0 (特類2級) 以上		N50	15以下	2.6	5.2	□構造用合板 t=9.0 (特類2級) 以上		N50	15以下	2.5	4.9	□構造用合板 t=9.0 (特類2級) 以上		N50	15以下	2.5	5.0
□けい酸カルシウム板 t=8.0以上		GNF40	15以下	1.5	3.1							□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		GNF40	15以下	1.3	2.6*1
□フレキシブル板 t=6.0以上		GNF40	15以下	1.9	3.8							□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		ビスφ3 長さ 28~40mm	15以下	1.1	2.2*1
□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		GNF40	15以下	1.3	2.6	□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		GNF40	15以下	1.3	2.6*1						
□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		ビスφ3 長さ 28~40mm	15以下	1.1	2.2	□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		ビスφ3 長さ 28~40mm	15以下	1.1	2.2*1						

*1 「大壁タイプ」からの低減はなし

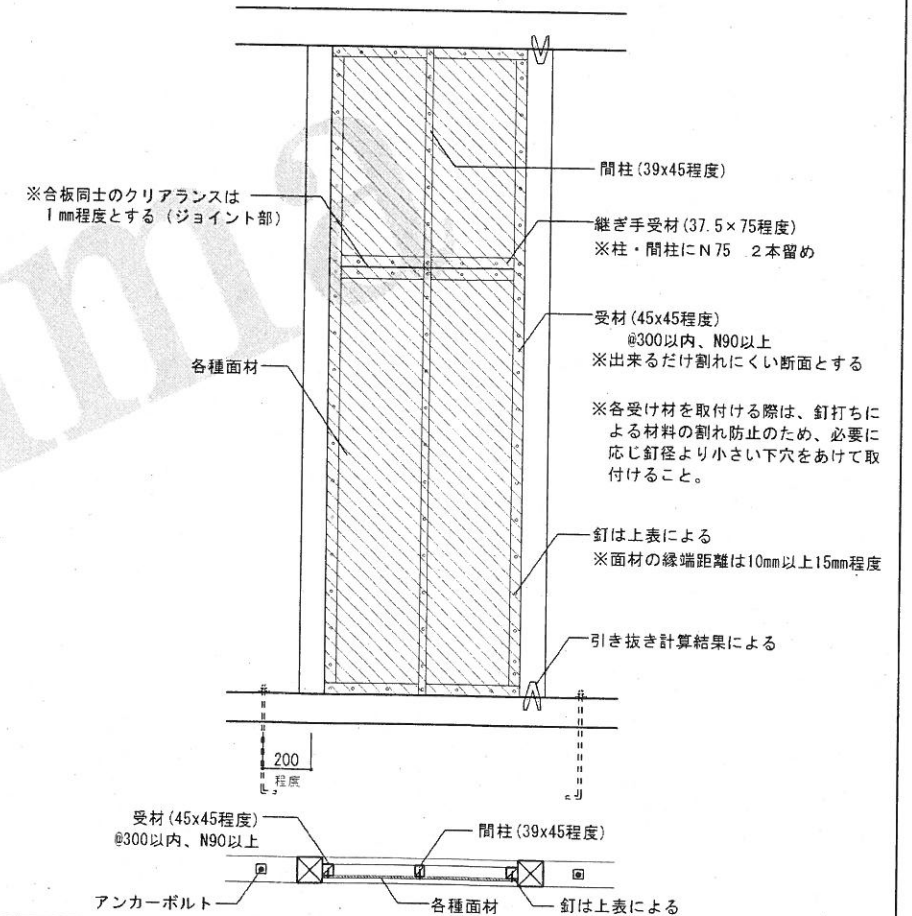
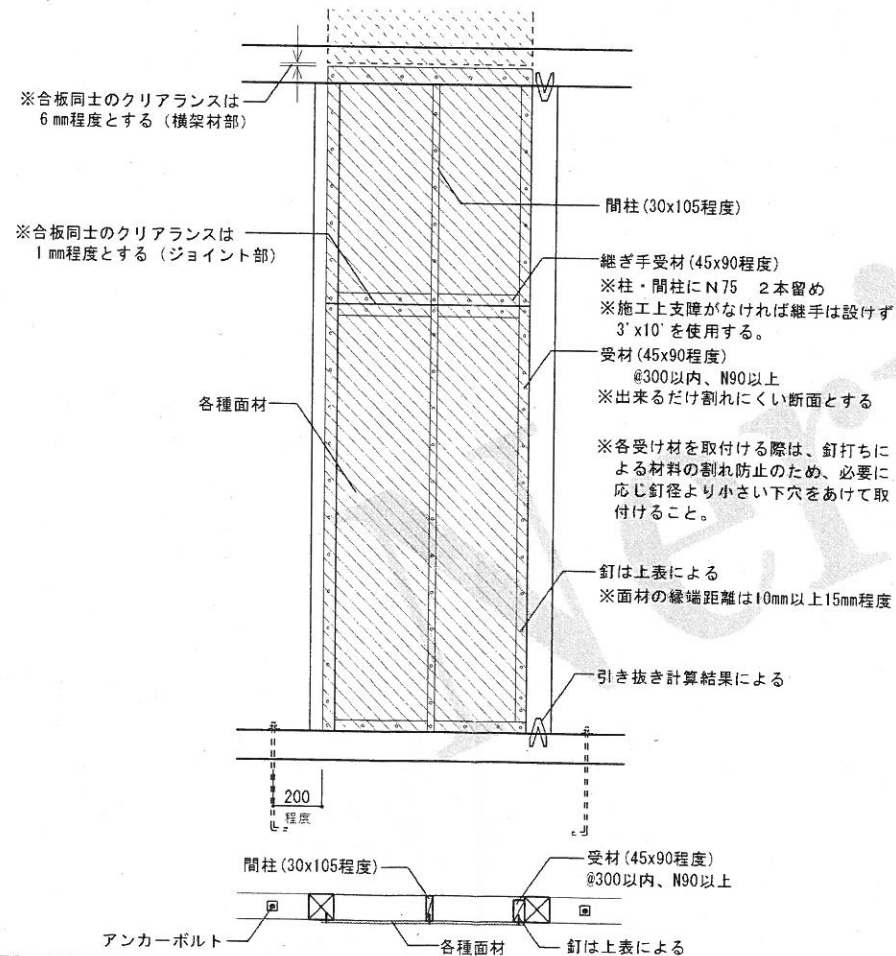
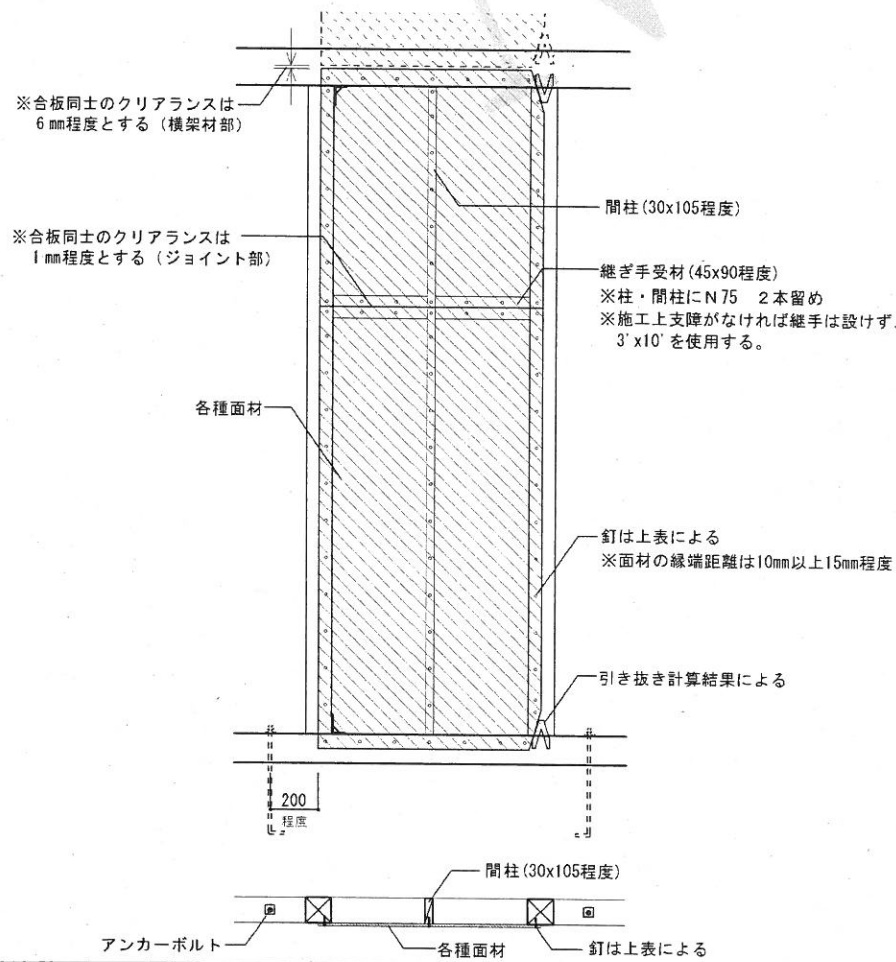
*1 「大壁タイプ」からの低減はなし

□上記以外に用いた耐力壁					□上記以外に用いた耐力壁					□上記以外に用いた耐力壁								
<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>			
<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>					<input type="checkbox"/>			

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。



1. 本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。
2. 各部に使用する補強用金物は種類も多いため、現場にて適材適所を考え協議の上決定する。
3. 新規に設ける補強柱は「ほぞ納まり」とすることが難しいため、建込に当たり横架材と隙間が開かないよう注意し、柱梁接合金物の他に滑り止めとしての金物を別途取付ける。
4. 地面から1m以内の部分に用いる木材は、必要に応じて防腐措置及びしろありその他虫による被害を防ぐための措置を講ずる。

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.4 (4/6)	図番	
設計年月日	縮尺		枚数

□面材によるもの

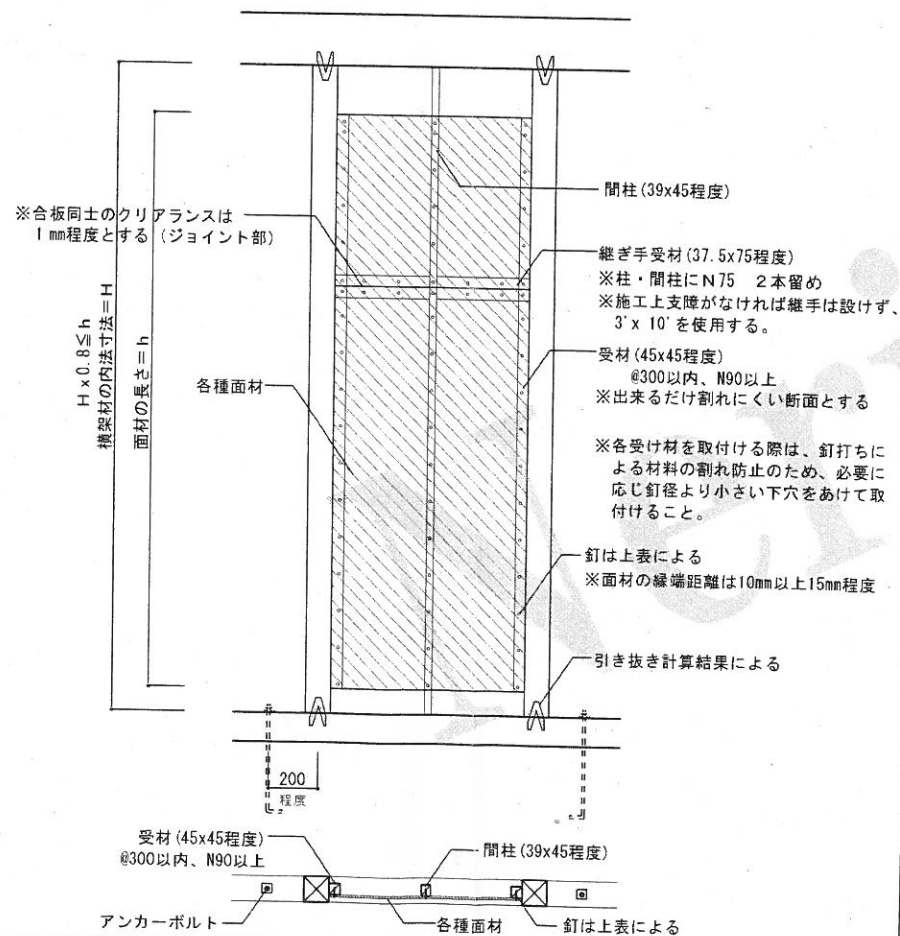
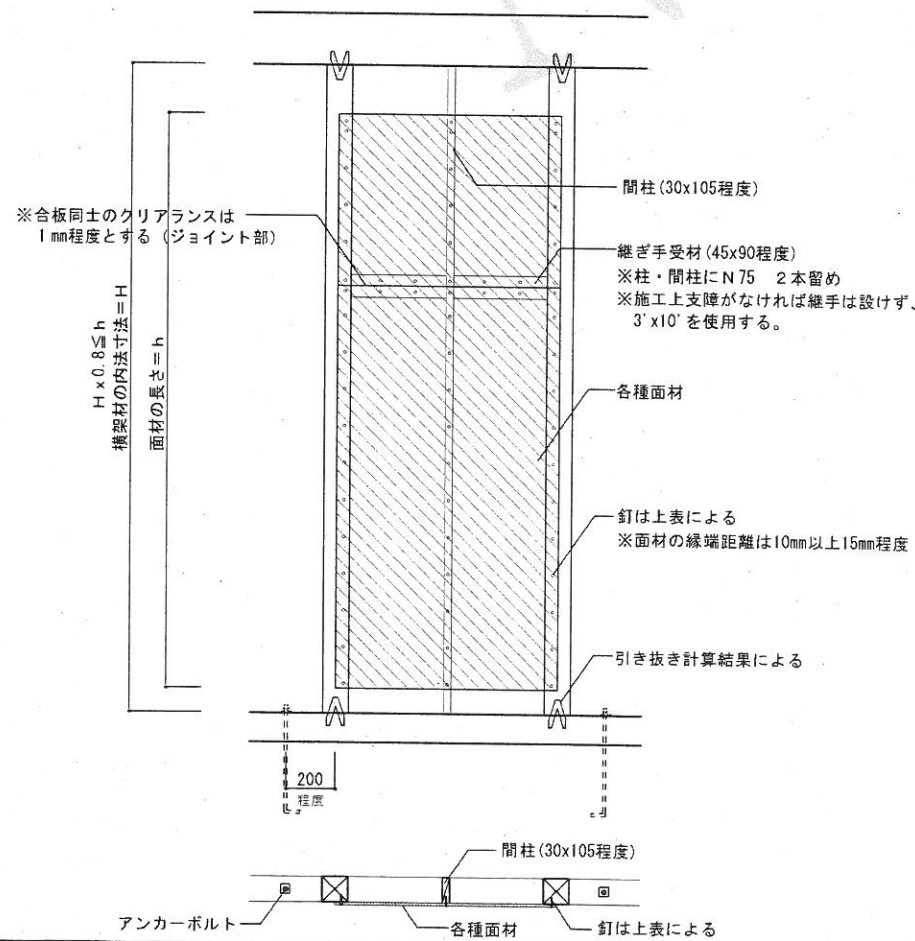
□準耐力壁タイプ（大壁）

□準耐力壁タイプ（真壁の受材）

材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)	材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)
		種類	間隔(cm)					種類	間隔(cm)		
□構造用合板 t=9.0 (特種2級) 以上		N50	15以下	1.5	3.1	□構造用合板 t=9.0 (特種2級) 以上		N50	15以下	2.0	4.0
□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		くぎGNF40 または ビスφ3.8以上 長さ28~40mm	15以下	1.0	2.0	□石膏ボード (GB-R) t=12.0以上 (屋内壁)		GNF40	20以下	0.6	1.3
□上記以外に用いた耐力壁						□上記以外に用いた耐力壁					
□						□					
□						□					
□						□					

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。



1. 本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。
2. 各部に使用する補強用金物は種類も多いため、現場にて適材適所を考え協議の上決定する。
3. 新規に設ける補強柱は「ほぞ納まり」とすることが難しいため、建込に当たり横架材と隙間が開かないよう注意し、柱梁接合金物の他に滑り止めとしての金物を別途取付ける。
4. 地面から1m以内の部分に用いる木材は、必要に応じて防腐措置及びしるしありその他虫による被害を防ぐための措置を講ずる。

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.5 (5/6)	図番	
設計年月日	縮尺		枚数

□面材+筋かいによるもの

□筋違い (片側)

□筋違い (たすき)

□水平構面の補強 ※下屋部分を壁補強した場合などに適用する

□大壁タイプ		□受材タイプ					
材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)		壁倍率
		種類	間隔 (cm)		大壁タイプ	受材タイプ	
□木材 30mm x 90mm + 構造用合板 t=9.0以上	N50	15以下		3.8	7.6	7.3 ^{*2}	3.7
□木材 45mm x 90mm + 構造用合板 t=9.0以上				4.2	8.4	8.1 ^{*2}	4.1
□木材 90mm x 90mm + 構造用合板 t=9.0以上				5.1	10.0	9.7 ^{*2}	4.9

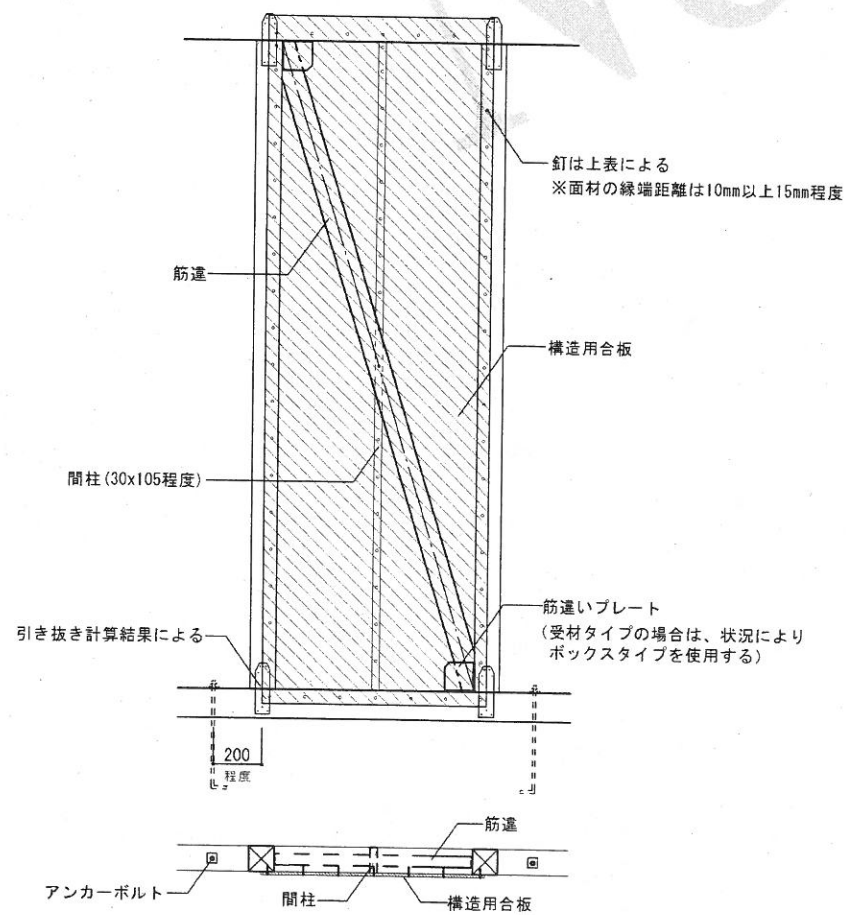
□大壁タイプ		□受材タイプ					
材料	設計板厚	釘打ちの方法		壁倍率	基準耐力 (kN/m)		壁倍率
		種類	間隔 (cm)		大壁タイプ	受材タイプ	
□木材 30mm x 90mm (たすき) + 構造用合板 t=9.0以上	N50	15以下		5.1	10.0	9.7 ^{*2}	4.9
□木材 45mm x 90mm (たすき) + 構造用合板 t=9.0以上				5.9	11.6	11.3 ^{*2}	5.7

*2 「受材タイプ」は受材自体が筋違端部で欠損することが多いため、その周辺は状況により合板を留め付ける釘を増打ちする

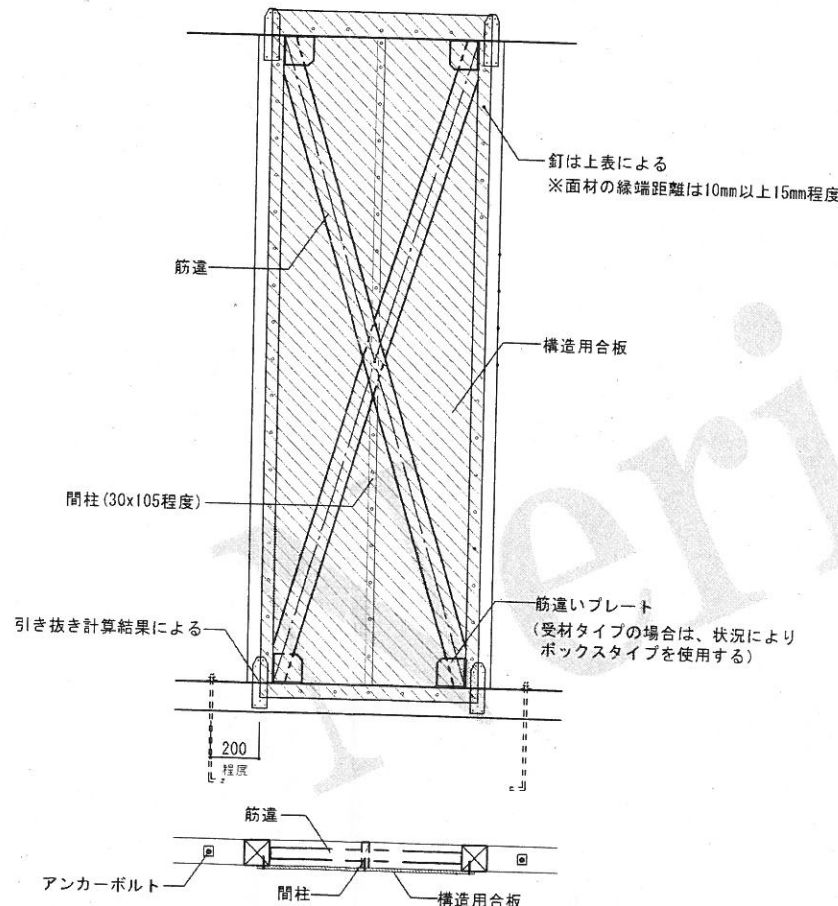
*2 「受材タイプ」は受材自体が筋違端部で欠損することが多いため、その周辺は状況により合板を留め付ける釘を増打ちする

注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。

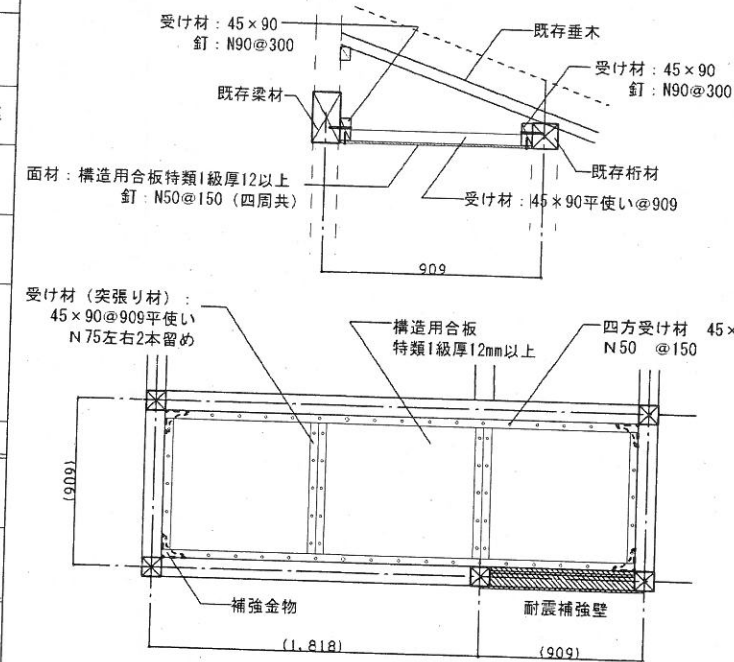
注意：面材にコンセント、スイッチ等の開口を空ける場合には、100mm以上のヘリ空き寸法を確保すること。



*上図は大壁タイプの納まり図である為、受材タイプの場合はNo.4 「面材によるもの/大壁の受材タイプ」に倣う。

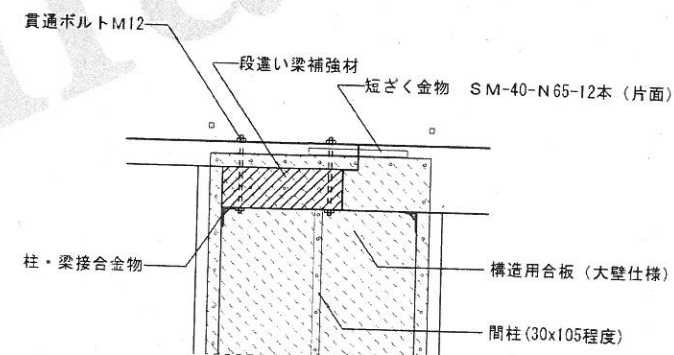


*上図は大壁タイプの納まり図である為、受材タイプの場合はNo.4 「面材によるもの/大壁の受材タイプ」に倣う。



- 四方横架材 (梁) のコーナーを補強金物で固定し、四方受材を釘固定 (N90@300)、水平構面材 (構造用合板) を四方受材に釘打ち (N50@150) し、一体性を向上させ水平剛性を高める。
- 水平構面補強材の構造用合板は 特種1級 t=12mm以上とする。
※水平剛性を高めるためには「剛床」を構築する考えから使用する構造用合板は t=24mm程度とすることが望ましい

□段違い梁補強 ※壁補強面内に横架材 (梁) の仕口があり、成の断面寸法が大きく相違する場合などに適用する



- 短冊金物等で横架材相互を結合する。
- 段違い部分に補強材を設け、横架材 (梁) の高さを調整し、貫通ボルト等で既存横架材に固定し一体化する。
- 構造用合板は既存横架材まで伸ばし、新規に設けた補強材とも釘打ちする。

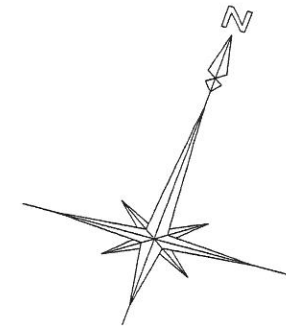
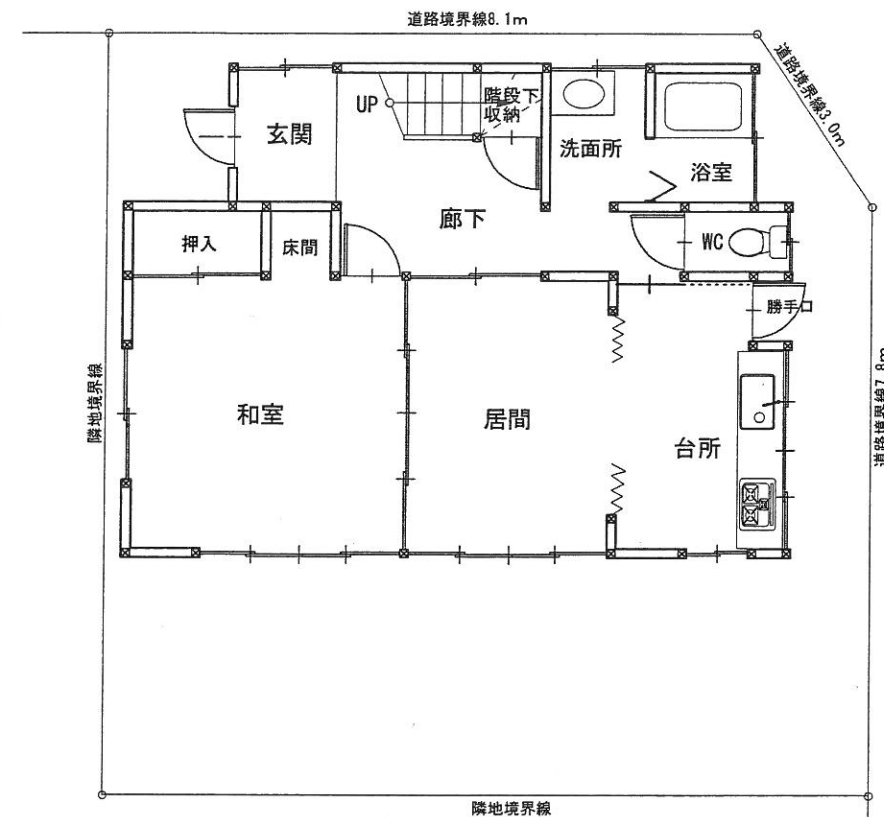
- 本特記仕様書は、チェック印又は○印を付した事項を使用する。
- 各部に使用する補強用金物は種類も多いため、現場にて適材適所を考え協議の上決定する。
- 新規に設ける補強柱は「ほぞ納まり」とすることが難しいため、建込に当たり横架材と隙間が開かないよう注意し、柱梁接合金物の他に滑り止めとしての金物を別途取付ける。
- 地面から1m以内の部分に用いる木材は、必要に応じて防腐措置及びしるしありその他虫による被害を防ぐための措置を講ずる。

工事名	邸 耐震補強工事		
図面名	木構造耐震補強工事特記仕様書 No.6 (6/6)	図番	
設計年月日	縮尺		枚数

地図

東京都練馬区

案内図 S=1/1500



配置図 S=1/50

株式会社 ○○一級建築士事務所

東京都練馬区桜台1-7-7シルバービル2F
Tel:03-3948-5231 Fax:03-3948-5232

事務所登録 第136・・・号

資格 一級建築士
氏名

工事名 ○○邸耐震補強工事

図面名 配置図・案内図

設計年月日 平成25年7月6日 縮尺: 図面NO. 7

工事概要

工事名称	〇〇邸 耐震補強工事	本工場の目的	・ 本工事は、調査の結果に基づき、既存建物を相対的に補強することにより構造上の評点「lw値1.0以上」を目指し、耐震性の向上を図ることを主旨として行うものである。
工事場所	東京都練馬区		
地域地区	第一種低層住居専用地域、第1種高度地区、準防火地域		本既存建物は、調査により耐震性における耐力が不足しているという結果となったが、その大きな原因としては、
敷地面積	約 99.07 m ² (約 29.97 坪)		1階の壁配置バランスの偏りと既存壁の耐力の低さが原因として考えられる。
建築面積	51.76 m ² (15.66 坪)		・ 1階の補強位置は偏心率を小さくすることを目的とし、2階が載っている部分に補強箇所を設定し、一箇所に集中せず出来るだけバランスよく行う。
延床面積	91.09 m ² (27.55 坪)		・ 2階の補強位置は1階との連続性や偏心を考慮する。
建ぺい率	52.65 % 法定 60 %		・ また本建物は既存建物であり、建築時期の関係上、建物の耐力・筋かいの考え方・金物の仕様等について、現在の建築基準法上の仕様になっていない、
容積率	91.94 % 法定 100 %		・ 柱～梁等の仕口補強及び耐震壁を整備することにより、「全体のバランスを少しでも良好にすること」を踏まえて工事を行う。
構造規模・工事内容	木造2階建て在来工法		・ 耐震改修により生じる影響部分については、現状に近いかたちへの復旧を行う。
	改修工事	工事範囲	・ 各図面に明記ある事項
			・ 1階床下の各仕口補強を出来る限り行う。
			※但し床下に入れる範囲のみとする
			・ 小屋裏より、骨組みの各仕口補強を締付け金物を用い出来る限り行う。
			※但し小屋裏に入れる範囲のみとする
		その他	・ 住宅用火災報知器設置・換気システム(別途見積もり工事)

外部仕上表

屋根	屋根: スレート板葺き(厚型)	軒樋	既存のまま
下屋	屋根: 金属板葺き	縦樋	既存のまま
破風・鼻隠し	破風板に塗装仕上げ (既存のまま)	地覆	既存のまま
外壁	既存部分: モルタル塗り	各種板金	既存のまま
	改修部分: モルタル塗り		
	※新旧継ぎ目部分の止水には十分注意する事。	外構工事	既存のまま
戸袋	既存部分: ベニヤ		
	改修部分: ケイカル板		
	耐力壁施工箇所は、現状と同様に復旧する。		
			* 工事中一時的に撤去した箇所は、同様に復旧すること。

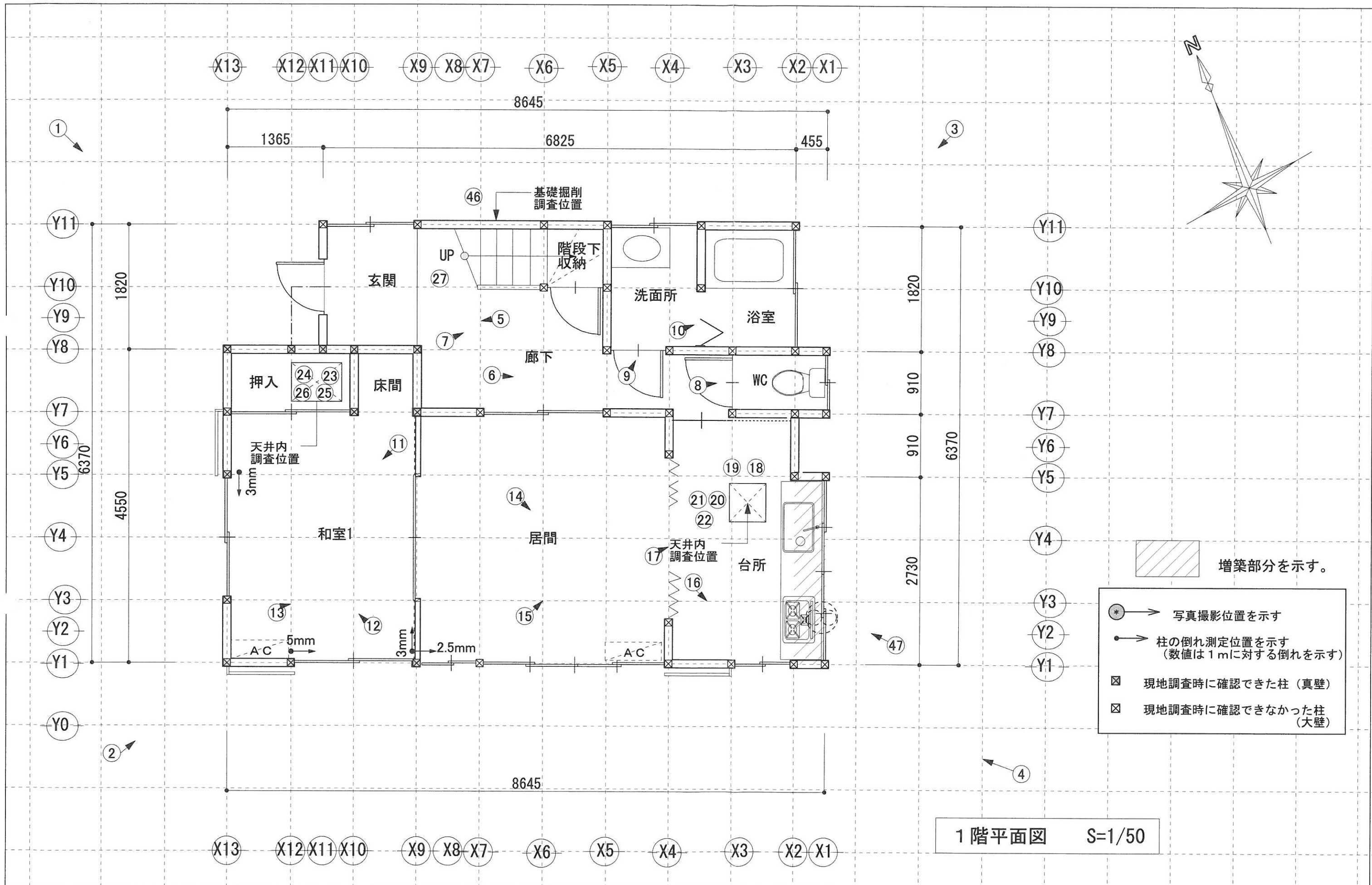
株式会社 〇〇一級建築士事務所		工事名	〇〇邸耐震補強工事
事務所登録 第136〇〇号	〒176-0000 東京都練馬区.....	図面名	工事概要・外部仕上表
一級建築士	Tel: 03-3948-..... Fax: 03-3948-.....	設計年月日	平成25年7月6日
			図面 NO.8

室名	床		巾木 仕上	壁		天井		階高	廻縁	備考	
	改修前	改修後		改修前	改修後	改修前	改修後				
1F	玄関	タイル	既存のまま	木製	ビニールクロス	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	廊下	フローリング	既存のまま	木製	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	階段		既存のまま	-	化粧合板	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま		木製	
	便所	CFシート	既存のまま	木製	ビニールクロス	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	洗面所	CFシート	既存のまま	木製	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	浴室	タイル	既存のまま	タイル	タイル	既存のまま	化粧ボード	既存のまま	2.5	-	
	台所	フローリング	既存のまま	木製	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	2.4	木製	勝手口:開口部を耐力壁へ。床をつくる。
	居間	フローリング	既存のまま	木製	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	ビニールクロス	ビニールクロス(改修)	2.4	木製	サッシ取替え
	和室1	畳	既存のまま	畳寄	京壁	既存のまま	杉空天井板	既存のまま	2.4	木製	
	押入れ	ラワンベニヤ	ベニヤ(改修)	雑巾刷	ベニヤ	ベニヤ(改修)	ラワンベニヤ	ベニヤ(改修)	2.4	-	天井内水平剛性補強
	階段下収納	ラワンベニヤ	既存のまま	雑巾刷	ベニヤ	既存のまま	ラワンベニヤ	既存のまま	2.4	-	
										木製	
										木製	
										木製	
										-	
										木製	
										木製	
2F	廊下	フローリング	既存のまま	木製	ビニールクロス	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	階段		既存のまま	木製	化粧合板	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま		木製	
	便所	CFシート	既存のまま	木製	ビニールクロス	既存のまま	ビニールクロス	既存のまま	2.4	木製	
	洋室	フローリング	既存のまま	木製	ビニールクロス	既存のまま	化粧ボード	既存のまま	2.4	木製	
	和室2	畳	既存のまま	畳寄	京壁	ビニールクロス(改修)	杉空天井板	既存のまま	2.4	木製	
	和室3	畳	既存のまま	畳寄	京壁	ビニールクロス(改修)	杉空天井板	既存のまま	2.4	木製	
	押入れ	ラワンベニヤ	ベニヤ(改修)	雑巾刷	ベニヤ	ベニヤ(改修)	ラワンベニヤ	ベニヤ(改修)	2.4	-	
<p>※火気使用室などの仕上げは建築基準法に準ずる。</p> <p>※各部屋に住宅用火災報知器を設置（希望があれば別途見積もり）</p> <p>※各仕上げ材(下地共)か建具等を含めF☆☆☆☆を使用する。但し天井裏等については一部F☆☆☆☆を使用する。</p> <p>※クロス貼り替えの際、エアコン室内機等既存取り付け物の背面もすべてクロスを貼りこむこと。</p>											

株式会社 ○○一級建築士事務所				工事名		○○邸耐震補強工事	
事務所登録 第136・・号		〒176-0000 東京都練馬区.....		図面名		内部仕上げ表	
一級建築士		Tel: 03-3948-..... Fax: 03-3948-.....		設計年月日		平成25年7月6日	
							図面 NO.9

〇〇邸 耐震補強工事

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
1	木構造耐震補強工事特記仕様書(1/6)		11	2階平面図(改修前)	S=1/50
2	木構造耐震補強工事特記仕様書(2/6)		12	1階平面図(改修後)	S=1/50
3	木構造耐震補強工事特記仕様書(3/6)		13	2階平面図(改修後)	S=1/50
4	木構造耐震補強工事特記仕様書(4/6)		14	1階耐力壁及び柱位置図(補強後)	S=1/50
5	木構造耐震補強工事特記仕様書(5/6)		15	2階耐力壁及び柱位置図(補強後)	S=1/50
6	木構造耐震補強工事特記仕様書(6/6)		16	補強詳細図	
7	案内図				
8	工事概要・外部仕上表				
9	内部仕上表				
10	1階平面図(改修前)	S=1/50			



株式会社 ○○一級建築士事務所

東京都練馬区桜台
Tel: 03-3948- Fax: 03-3948-

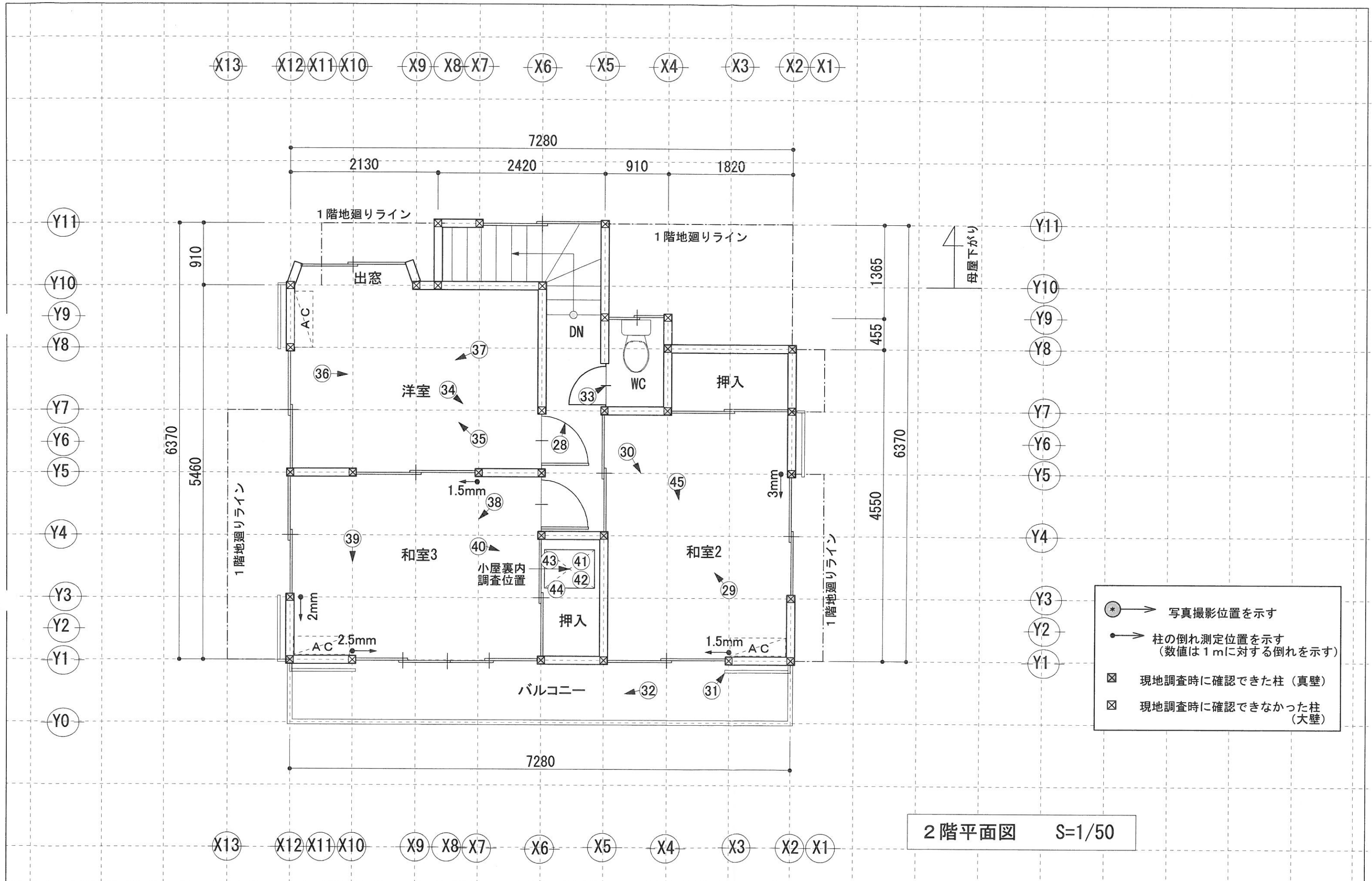
事務所登録 第136 . . .号

資格 一級建築士
氏名 ○○

工事名 ○○邸耐震補強工事

図面名 1階平面図(補強前)

設計年月日 平成25年7月6日 縮尺 1/50 図面NO. 10

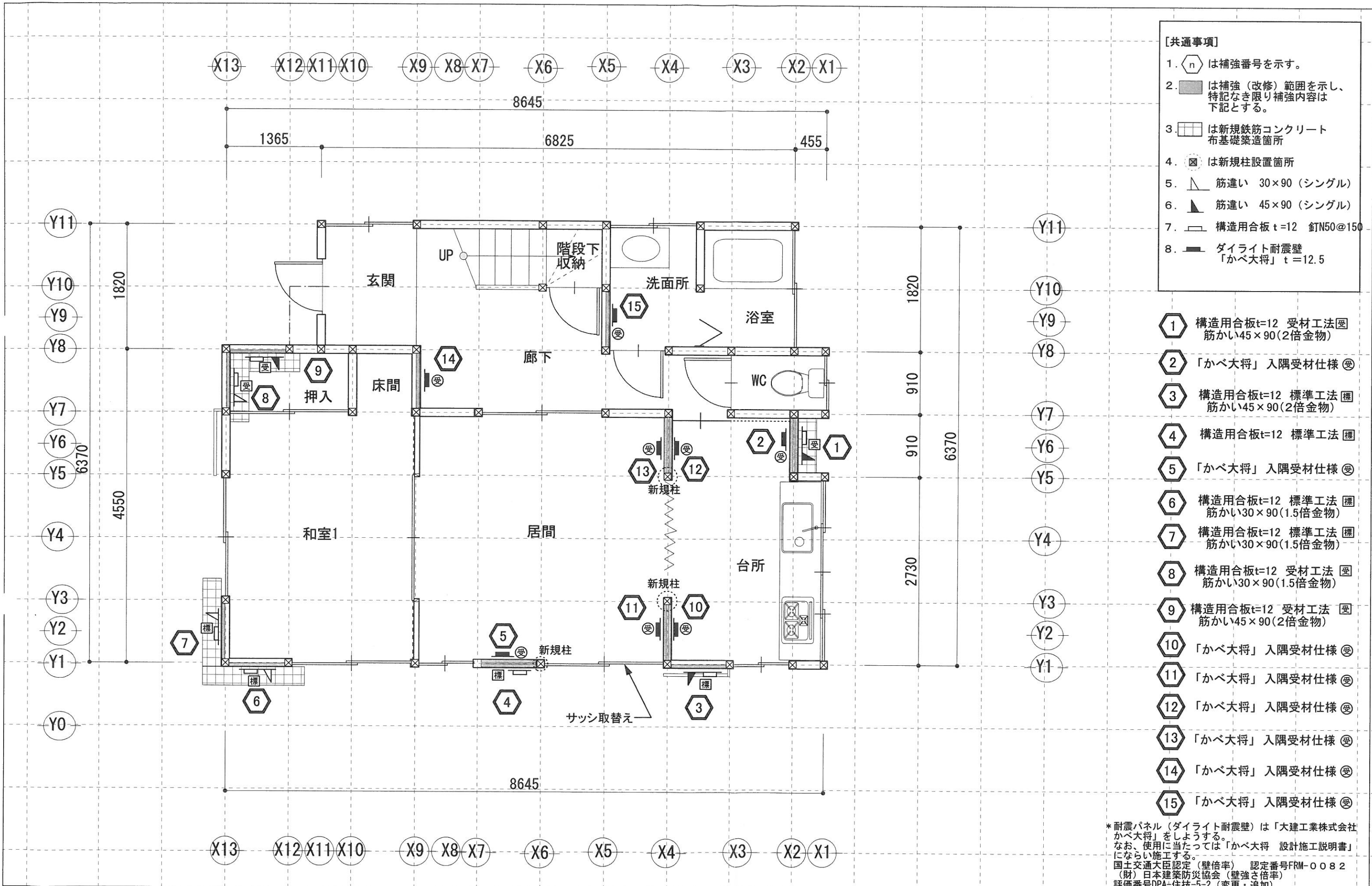


2階平面図 S=1/50

株式会社 ○○一級建築士事務所
 東京都練馬区桜台
 Tel: 03-3948- Fax: 03-3948-

事務所登録 第136・・・号
 資格氏名 一級建築士 ○○

工事名	○○邸耐震補強工事	
図面名	2階平面図(補強前)	
設計年月日	平成25年7月6日	縮尺: 1/50 図面NO. 11



- [共通事項]**
- _n は補強番号を示す。
 - は補強(改修)範囲を示し、特記なき限り補強内容は下記とする。
 - は新規鉄筋コンクリート布基礎築造箇所
 - ⊗ は新規柱設置箇所
 - ▲ 筋違い 30×90 (シングル)
 - ▲ 筋違い 45×90 (シングル)
 - ▭ 構造用合板 t=12 釘N50@150
 - ダイライト耐震壁「かべ大将」 t=12.5

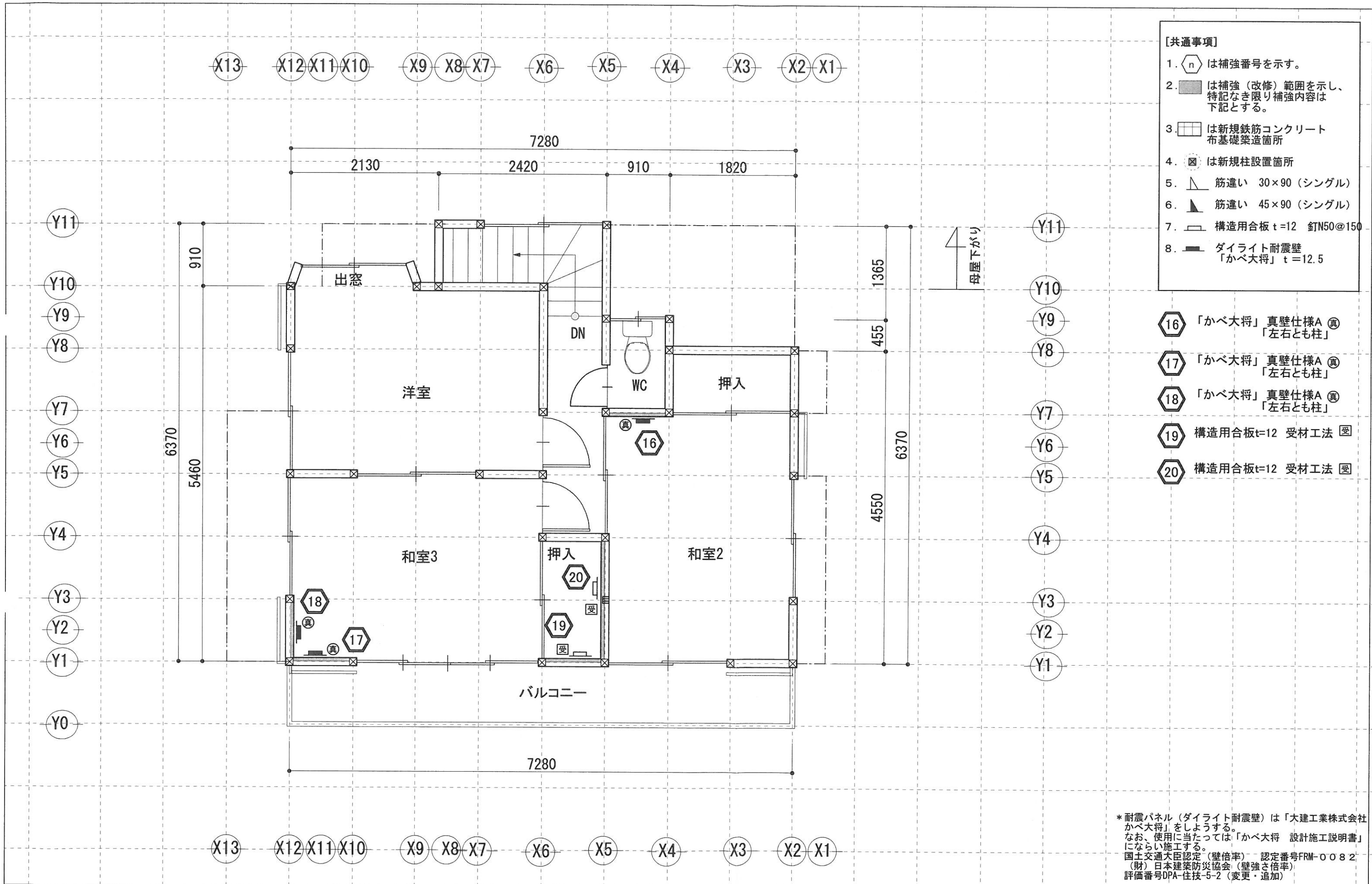
- 1 構造用合板t=12 受材工法 鋼筋かい45×90(2倍金物)
- 2 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 3 構造用合板t=12 標準工法 鋼筋かい45×90(2倍金物)
- 4 構造用合板t=12 標準工法 鋼
- 5 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 6 構造用合板t=12 標準工法 鋼筋かい30×90(1.5倍金物)
- 7 構造用合板t=12 標準工法 鋼筋かい30×90(1.5倍金物)
- 8 構造用合板t=12 受材工法 鋼筋かい30×90(1.5倍金物)
- 9 構造用合板t=12 受材工法 鋼筋かい45×90(2倍金物)
- 10 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 11 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 12 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 13 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 14 「かべ大将」入隅受材仕様 受
- 15 「かべ大将」入隅受材仕様 受

*耐震パネル(ダイライト耐震壁)は「大建工業株式会社かべ大将」をしようする。
 なお、使用に当たっては「かべ大将 設計施工説明書」にならない施工する。
 国土交通大臣認定(壁倍率) 認定番号FRM-0082
 (財)日本建築防災協会(壁強さ倍率)
 評価番号DPA-住技-5-2(変更・追加)

株式会社 ○○一級建築士事務所
 東京都練馬区桜台
 Tel:03-3948- Fax:03-3948-

事務所登録 第136. . .号
 資格氏名 一級建築士 ○○

工事名 ○○邸耐震補強工事
 図面名 1階平面図(補強後)
 設計年月日 平成25年7月6日 縮尺:1/50 図面NO. 12



- [共通事項]**
- ① n は補強番号を示す。
 - は補強（改修）範囲を示し、特記なき限り補強内容は下記とする。
 - は新規鉄筋コンクリート布基礎築造箇所
 - ⊠ は新規柱設置箇所
 - ▲ 筋違い 30×90（シングル）
 - ▲ 筋違い 45×90（シングル）
 - ▭ 構造用合板 t=12 釘N50@150
 - ダイライト耐震壁「かべ大将」 t=12.5

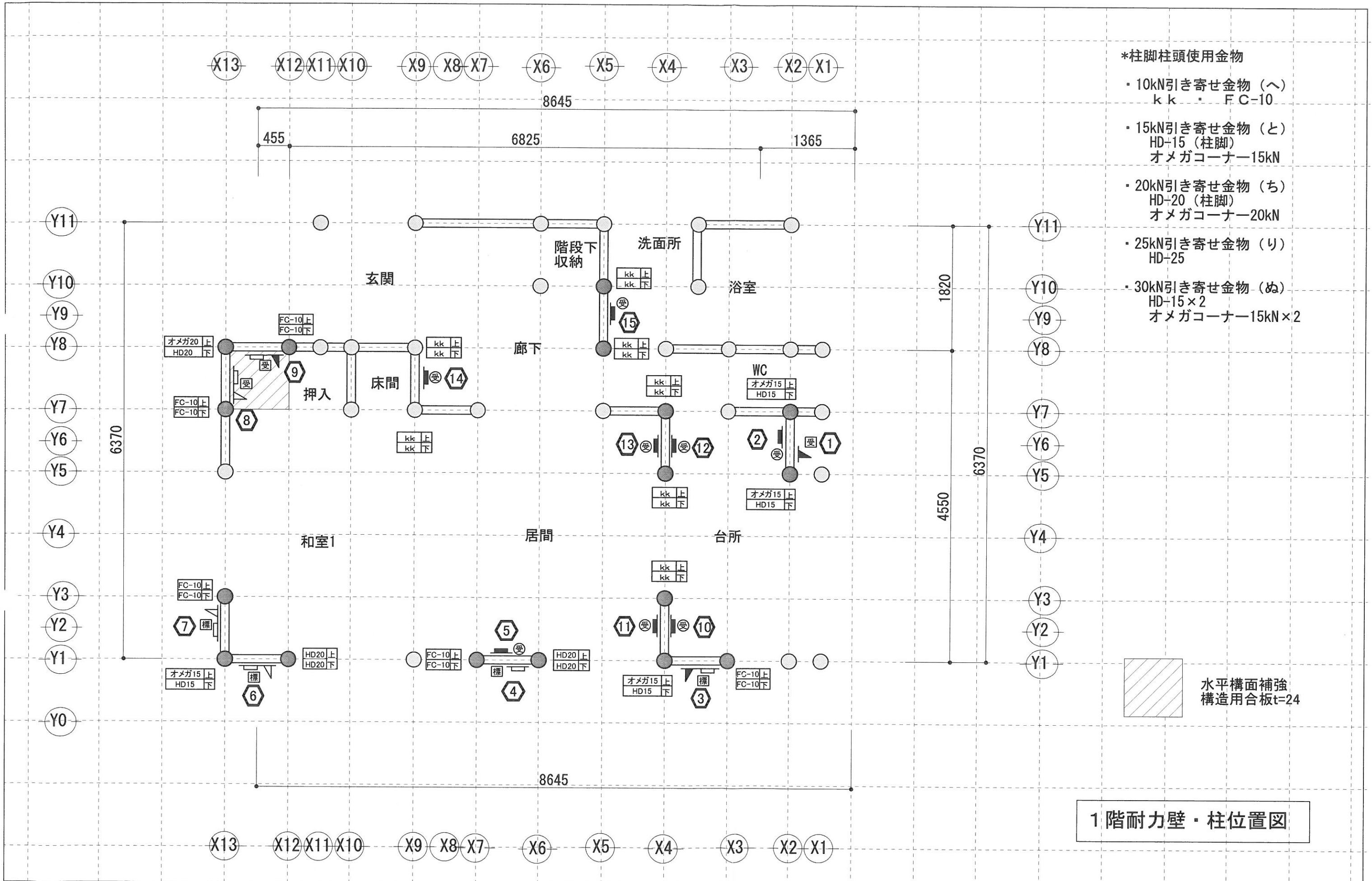
- ①6 「かべ大将」真壁仕様A 真
「左右とも柱」
- ①7 「かべ大将」真壁仕様A 真
「左右とも柱」
- ①8 「かべ大将」真壁仕様A 真
「左右とも柱」
- ①9 構造用合板t=12 受材工法 真
- ①0 構造用合板t=12 受材工法 真

*耐震パネル（ダイライト耐震壁）は「大建工業株式会社かべ大将」をしようする。
 なお、使用に当たっては「かべ大将 設計施工説明書」にならぬ施工する。
 国土交通大臣認定（壁倍率） 認定番号FRM-0082
 （財）日本建築防災協会（壁強さ倍率）
 評価番号DPA-住枝-5-2（変更・追加）

株式会社 ○○一級建築士事務所
 東京都練馬区桜台
 Tel:03-3948- Fax:03-3948-

事務所登録 第136・・号
 資格氏名 一級建築士 ○○

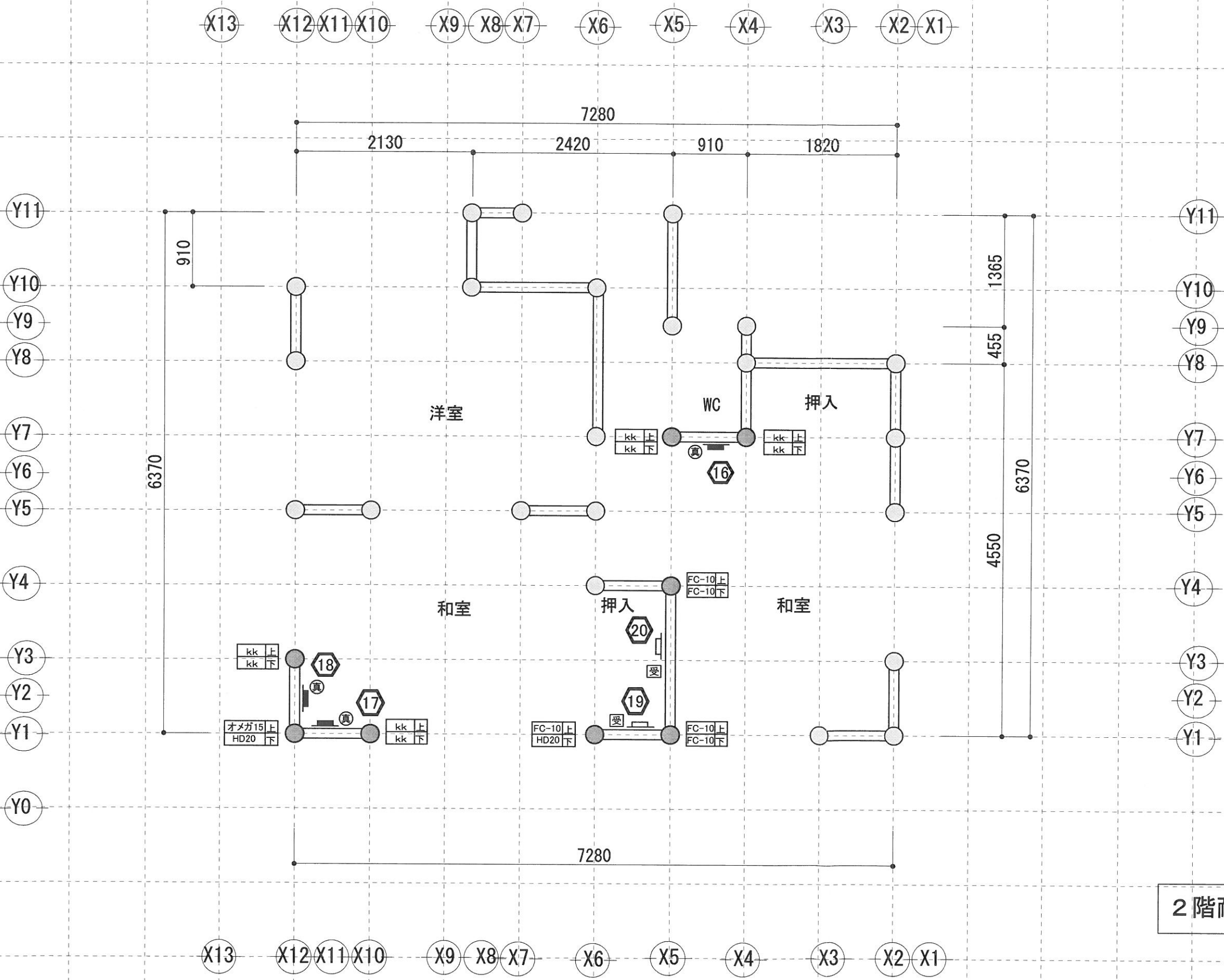
工事名	○○邸耐震補強工事		
図面名	2階平面図（補強後）		
設計年月日	平成25年7月6日	縮尺:1/50	図面NO. 13



- *柱脚柱頭使用金物
- ・ 10kN引き寄せ金物 (へ)
kk 上
kk 下 FC-10
 - ・ 15kN引き寄せ金物 (と)
HD-15 (柱脚)
オメガコーナー15kN
 - ・ 20kN引き寄せ金物 (ち)
HD-20 (柱脚)
オメガコーナー20kN
 - ・ 25kN引き寄せ金物 (り)
HD-25
 - ・ 30kN引き寄せ金物 (ぬ)
HD-15×2
オメガコーナー15kN×2

水平構面補強
構造用合板t=24

1階耐力壁・柱位置図



- *柱脚柱頭使用金物
- ・ 10kN引き寄せ金物 (へ)
kk FC-10
 - ・ 15kN引き寄せ金物 (と)
HD-15 (柱脚)
オメガコーナー15kN
 - ・ 20kN引き寄せ金物 (ち)
HD-20 (柱脚)
オメガコーナー20kN
 - ・ 25kN引き寄せ金物 (り)
HD-25
 - ・ 30kN引き寄せ金物 (ぬ)
HD-15×2
オメガコーナー15kN×2

2階耐力壁・柱位置図

株式会社 ○○一級建築士事務所
 東京都練馬区桜台
 Tel: 03-3948- Fax: 03-3948-

事務所登録 第136 . . 号
 資格氏名 一級建築士 ○○

工事名	○○邸耐震補強工事	
図面名	2階柱金物仕様及び柱位置図	
設計年月日	平成25年7月6日	縮尺: 1/50 図面NO. 15

<p><基礎> 新規鉄筋コンクリート布基礎築造詳細図</p>	<p><基礎> 鉄筋コンクリート抱き基礎補強詳細図</p>	<p><1階天井内>水平構面補強詳細図</p>

	<p>株式会社 ○○一級建築士事務所 東京都練馬区桜台・・・・・・・・・・ Tel:03-3948- Fax:03-3948-</p>	<p>事務所登録 第136・・・号 資格 一級建築士 氏名 ○○</p>	<p>工事名 図面名 設計年月日</p>	<p>○○邸耐震補強工事 補強詳細図 平成25年7月6日 縮尺: 図面NO. 16</p>
--	---	--	--	---